

令和2年度当初予算の主な事業

(参考資料)

徳島県

目 次

1 事前復興・県土強靱化のさらなる加速

◆地方創生の礎！「強靱とくしま」の加速

- (1) 未知なる災害を迎え撃つ「強靱とくしま」の実装 1
 - ⑧ 「事前復興」推進事業
 - ⑧ 「とくしまゼロ作戦」県土強靱化推進事業
- (2) 地域防災の要となる「消防団」の充実強化 2
 - 地域を守る「消防団」活性化推進事業
- (3) 『最先端』『災害に強い』企業誘致の推進 3
 - ⑧ 事前復興型・企業防災減災支援事業の新設
- (4) ⑧ Society5.0対応型耐震リフォーム支援事業 4
- (5) 「自然・水素エネルギー」の導入推進！ 5
 - ⑧ 「自立・分散型電源」導入支援事業
- (6) 新防災センター（徳島中央警察署）施設整備事業 6

◆人生100年時代！「健康長寿とくしま」の推進

- (7) 一歩先の未来を見据えた病院づくり 7
 - ⑧ 県立中央病院ER棟（仮称）整備推進事業
- (8) ⑧ 効果実感！ジェネリック医薬品使用促進事業 8
- (9) 徳島はぐくみプランの推進 9
 - アクティブ・シニアを活用した県版「保育助手制度」の推進

◆新次元の消費者行政・教育の深化

- (10) ⑧ 世界へ羽ばたけ！とくしま消費者行政・消費者教育飛躍事業 10
 - ⑧ 世界に先駆け！未来につなぐ消費者行政・消費者教育事業
 - ⑧ SDGs でつながる消費生活レガシープロジェクト
 - 消費生活センター「戦略拠点機能」強化事業

◆「ダイバーシティとくしま」の実装

- (11) ⑧ 進化する！障がい者地域共生拠点実装事業 11
- (12) 発達障がい「つながる・ひろがる・はばたく」充実事業 12
- (13) 徳島県中小企業向け融資制度 13
 - ⑧ 「外国人材受入支援資金」の創設
- (14) ⑧ にし阿波・外国人財誘致促進事業 14
- (15) 誰もが輝く男女共同参画推進プロジェクト 15
 - ⑧ 女性・若者が主役へ！地域参画人財育成事業
 - ⑧ 若者未来プラン実装事業
 - 女性活躍ワンストップサービスセンター（仮称）整備事業
 - 徳島はぐくみプランの推進(P.9再掲)
 - ⑧ 若者未来プラン実装事業
 - 地域防災の要となる「消防団」の充実強化（P.2再掲）
 - ⑧ 「全国女性消防団員活性化徳島大会」開催事業

◆安全安心な地域づくりの推進

- (16) 「守り」を固めて「攻め」に転じる本県畜産業の強化策 16
 - ⑧ 海外悪性伝染病防疫対策強化事業
 - ⑧ 畜産研究課本館機能強化事業
- (17) ⑧ 「猪・鹿・猿 調査分析・集中捕獲」事業 17
- (18) ⑧ 交通事故抑止対策事業 18
- (19) 生活困窮者自立支援・ひきこもり支援の強化 19
 - ⑧ 生活困窮者アウトリーチ強化事業
 - ⑧ ひきこもり対策専門家支援事業

2 5G実装モデルの構築・未来への投資促進

◆徳島が先導！「Society5.0」の実装

- (20) ⑧ ローカル5Gプロジェクト 20
- (20-1) 「5G実装」による産業イノベーションの推進 21
 - ⑧ 5Gスマートファクトリー推進事業
 - ⑧ 5G技術対応エンジニア育成事業
 - 一步先の未来を見据えた病院づくり(P.7再掲)
 - ⑧ 5G遠隔診療・遠隔診断事業
 - ⑧ 「5G遠隔診療・遠隔診断」看護教育活用事業
- (20-2) ⑧ 5G地域実感！体感機会創出事業 22
 - 『最先端』『災害に強い』企業誘致の推進(P.3再掲)
 - ⑧ Society5.0関連技術研究開発に対する補助メニューの新設
- (21) Society5.0時代に対応したスマート農林水産業の推進 23
 - 生産性革命を実現する徳島スマート農林水産業展開事業
 - ⑧ スマート農業経営モデル確立事業
 - ⑧ 資源・漁獲情報ネットワーク構築事業
 - ⑧ 漁海況予測システム構築事業
 - ⑧ 「猪・鹿・猿 調査分析・集中捕獲」事業(P.17再掲)
 - ⑧ 鳥獣スマート調査事業
- (22) 未来につなげる広報広聴事業 24
 - ⑧ AI要約すだちくんSNS発信事業
- (23) ⑧ 企業局駐車場リフレッシュ事業 25

◆「経済好循環とくしま」づくりの推進

- (24) ⑧ 徳島県イノベーション創出推進事業 26
 - 徳島県中小企業向け融資制度(P.13再掲)
 - 「事業引継ぎ支援資金」保証料率の低減

◆世界に誇る「とくしまブランド」の強力展開

- (25) 農林水産業未来創造基金活用事業 27
 - 農山漁村未来創造事業
 - 「守り」を固めて「攻め」に転じる本県畜産業の強化策(P.16再掲)
 - ⑧ とくしまの酪農・乳業生産基盤強化事業
 - ⑧ 「とくしま三ツ星ビーフ」販路拡大強化事業

園芸産地総合リノベーション事業

- (26) ⑧ 「とくしま農林水産物等海外輸出戦略」推進事業 28
 ⑧ 世界へ羽ばたけ！機内食需要獲得事業
 ⑧ 巨大市場を開拓！デジタル貿易事業

◆攻めのインバウンド・観光誘客の促進

- (27) ⑧ 宿泊施設の投資促進 29
 宿泊施設リノベーション支援事業
 ⑧ 宿泊施設投資促進事業
 ⑧ 宿泊施設民間融資活用資金利子補給補助金
 (28) ⑧ とくしま観光人づくり事業 30
 (29) ⑧ 新たな「海上交通」実証運航事業 31
 (30) 全国・世界へ！徳島の魅力発信戦略 32
 ⑧ “つながる首都圏阿波おどり”情報発信事業
 首都圏から世界へ！とくしま魅力拡散事業
 ⑧ 徳島やりませ！in 関西事業
 (31) インバウンドで飛躍「桃源郷にし阿波」魅力強化事業 33

◆徳島発！「働き方改革」の実践

- (32) ⑧ 「未知への挑戦」実装費 34
 (33) ⑧ 新3K・建設産業「働き方改革」推進事業 35
 (34) 会計年度任用職員制度の導入 36

3 人口減少対策の強力展開・魅力発信

◆持続可能な地域へ！「地方創生」の新展開

- (35) ⑧ Society5.0実装化エリア創出事業 37
 (36) ⑧ みんなが主役！「徳島版SDGs」全県展開事業 38
 (37) 次世代地域公共交通ビジョン実装事業 39
 (38) Society5.0先導！サテライトオフィス全県実装事業 40
 ⑧ 地域イノベーション集積拠点創出事業
 サテライトオフィス誘致促進事業
 (39) 「ONE・TEAM徳島！」移住・交流推進プロジェクト 41
 ⑧ 広がれ！「とくしま暮らし」推進プロジェクト
 新たな地域づくりの担い手！「徳島ファン」創出加速化事業
 ⑧ 関西発！「Road to 徳島」事業
 わくWORK徳島！新しいふるさと発見事業
 徳島わくわく移住支援事業

◆「あわ文化・スポーツレガシー」の創造と継承

- (40) 「あわ文化」の創造発信と未来へのレガシー継承 42
 ⑧ とくしま藍文化創造発信事業
 ⑧ 地域連携音楽活性化事業
 (41) ⑧ 文化の森総合公園開園30周年記念事業 43
 ⑧ アートによる文化プログラム促進事業

(42)	国際スポーツ大会「レガシー」の創出！継承！	44
	⑧ 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ受入事業	
	⑧ ワールドマスターズゲームズ2021関西開催準備加速化事業	
	⑧ とくしまスポーツレガシー実装事業	
(43)	競技力ジャンプアッププロジェクト	45
	⑧ 競技力抜本的強化枠 [3か年枠総額3億円]	
(44)	令和4年度全国高校総体の推進と競技力向上関連事業	46
	⑧ 令和4年度全国高等学校総合体育大会推進事業	
	NEO徳島トップスポーツ校強化事業	
	県立学校スポーツ施設レガシー創出事業	
(45)	文化・スポーツ魅力創造事業 ～Second Stage～	47

◆ 希望がかなう子育て環境づくりの推進

徳島はぐくみプランの推進(P.9再掲)

	⑧ 就業促進！保育人材確保強化事業	
	⑧ とくしま子育てはぐくみ応援推進交付金事業	
	⑧ 多様な子育て支援推進交付金事業	
	⑧ とくしま保育対策総合支援補助金事業(P.9再掲)	
	⑧ 企業が応援！「チーム育児」推進プロジェクト	
	⑧ 被虐待児等すこやか育成事業	
	⑧ 徳島県次世代はぐくみ未来創造基金積立金	
(46)	⑧ AYA世代妊孕性サポート事業	48
(47)	子ども、高齢者、障がい者、みんなが集う「居場所づくり」の推進	49

◆ 新次元の地方創生を支える人材育成

(48)	私立学校振興事業	50
	⑧ 徳島版！私立高等学校等就学支援事業	
(49)	学校における働き方改革・魅力ある勤務環境の整備	51
	学校における常勤教職員（臨時的任用）の処遇改善	
(50)	⑧ ひろがる読書推進事業	52
(51)	⑧ 県立夜間中学開校準備事業	53
(52)	⑧ 新たな時代「令和」を切り拓く農林水産業人材の育成・確保	54
	とくしま農林水産未来人材スクール魅力発信事業	
	⑧ アグリビジネスアカデミー運営費	

◆ 徳島版SDGs・持続社会の実装

「自然・水素エネルギー」の導入推進！（P.5再掲）

	⑧ 「地方発！水素社会」普及促進事業	
(53)	「環境と経済の好循環」を生み出す気候変動対策の推進	55
	⑧ エシカル消費で脱炭素へ！県民運動推進事業	
	⑧ 「環境と経済の好循環」による気候変動対策推進事業	
	⑧ プラスチックごみ資源循環推進事業	
	⑧ 食品ロス削減とくしまモデル推進事業	
(54)	農林水産気候変動適応対策プロジェクト	56
(55)	マイナスからプラスへ！「リタイアインフラ」から新たな価値を創造	57
	⑧ とくしま旧道敷利活用モデル事業	
(56)	⑧ 「徳島 木のおもちゃ美術館（仮称）」整備推進事業	58

課題

迅速な復旧・復興



東日本大震災

- ・復興の担い手となる人材不足
- ・住民との復興計画の合意形成に時間を要する

復旧・復興の事前準備

強く・しなやかな県土づくり

- ・南海トラフ巨大地震の発生の恐れ
- ・台風・豪雨等の自然災害の頻発・激甚化



津波

「県民の生命と財産を守る取組」が急務

命をつなぐ環境づくり

- ・送電設備被災による長期停電
- ・浸水・土砂災害の広域化・激甚化によるライフラインの途絶



電柱倒壊

避難生活等の安全確保・機能強化

新「事前復興」推進事業【8,000千円】

事前復興の推進

- ⑧ 市町村が実施する事前復興の取組みを支援
- ⑧ 市町村・事前復興ロードマップ策定支援
- ⑧ 「復興まちづくりキャンプ(仮称)」の開催
- ⑧ 未来の復興の担い手である若者を対象に「ディベート大会」の開催



復興まちづくりキャンプイメージ

新「とくしまゼロ作戦」県土強靱化推進事業【156,500千円】

県土強靱化の加速

- ⑧ 臨時情報活用推進支援事業
市町村が行う住民への普及啓発を支援
- 災害対応計画策定支援事業
- 津波避難施設等整備事業
- 避難路・避難施設等機能強化事業
- チャレンジ枠・先進防災事業



津波避難タワー



避難路・避難施設の強化



避難所間仕切り

市町村の「国土強靱化地域計画」に位置づけられた事業を重点支援

ライフライン機能の強化

- ⑧ 避難所等停電対策促進事業
長期停電に備えた非常用電源の整備
- 孤立化対策「救護・救援体制」整備事業
- 孤立可能性集落通信手段確保対策事業
- 災害時快適トイレ対策促進事業



非常用発電機



孤立化対策ヘリポート



衛星携帯電話



災害時トイレ

想定外を許さない「安全実感!強靱とくしま」の実現

担当:危機管理政策課、とくしまゼロ作戦課

地域防災の要となる「消防団」の充実強化



【令和2年度当初予算額 10,000千円】

《地域を守る「消防団」活性化推進事業》 5,000千円

- 1 目的 自然災害を迎え撃つ地域防災力の強化を図るため、消防団員の確保とその活動の活性化を推進する。
- 2 事業内容
 - (1) 消防団を支援する環境づくり
 - ① 消防団活性化プラットフォーム推進事業
消防団員証へのマイナンバーカード導入やマイナポータル活用（活動への自治体ポイント付与等）による消防団を支援する仕組みを全国に先駆け実施
 - ② イベント等でのPR、「消防団協力事業所」や「消防団応援の店」の拡大
 - (2) 女性や学生、アクティブシニア等多様な人材の活用
 - ① アクティブシニア活躍推進事業
アクティブシニア(消防団OB)が「機能別消防団」として活動できるよう市町村に働きかけるとともに、県消防学校で避難所運営等を学ぶ研修を実施
 - ② 「女性消防団員スキルアップ研修」、「消防団1日体験入団」等の実施
 - (3) 消防団の活用による災害対応力の強化
 - ① 「AI」活用災害対応力強化モデル事業
発災前の避難指示等発令や災害予防、発災後の避難誘導や救助活動等を市町村が的確に行えるよう、消防団のネットワークによるSNS、AI等を活用した情報収集・共有体制について検証
 - ② 「ハイパー消防団員」活動支援事業
重機やドローン、オフロードバイク等、特殊技能を持つ者を登録する「ハイパー消防団員制度」の創設を促進するとともに、県消防学校でドローンやオフロードバイクの習熟訓練を実施

① 《「全国女性消防団員活性化徳島大会」開催事業》 5,000千円

地域防災の「新たな担い手」として女性の活躍を推進し、地域防災力の向上につなげるため、全国から約3,000人が一堂に会する全国大会を開催する。

『最先端』『災害に強い』企業誘致の推進



事業概要

- 企業立地促進事業費補助金 【令和2年度当初予算額 1,301,000千円】
- 情報通信関連事業立地促進費補助金 【令和2年度当初予算額 150,000千円】

目的

- ・ 全国屈指の光ブロードバンド環境を活かした、情報通信関連産業の立地とそれに併せた移住・雇用を推進
- ・ 頻発化・激甚化する大規模自然災害に対し、「事前復興」の考え方を踏まえた企業防災対策の強化を推進

背景

- ・ 人口減少、少子高齢化・過疎化が急速に進む中、優秀なIT人材の確保など、人手不足が深刻化
 → 労働力不足の解消や生産性向上など、経済成長の発展と社会的課題の解決に向けた、革新的技術の導入推進
- ・ 地震のみならず、集中豪雨や大型化する台風など、大規模自然災害が頻発化
 → 大規模自然災害リスクに対し、サプライチェーン維持のための事前復興対策の推進

事業概要

「人口減少」「災害列島」の2つの課題の解決に向けた企業立地補助制度の拡充

■情報通信関連事業立地促進費補助金

創設 ○「Society5.0」関連技術研究開発に対する補助メニューの新設

【補助対象：(旧) AI ⇒ (新) AI、IoT、5G、RPA、ロボット】



(1) 雇用者1名につき100万円(通常70万円)を助成



新たに、「住民票の異動を伴う転勤者」も助成対象に！



・補助限度額：なし ・補助期間5年間



(2) 県内高等教育機関と共同研究を行う場合に、企業が大学に負担する費用の1/2を補助



・補助限度額：100万円/年 ・補助期間5年間

革新的技術を扱う企業の立地促進と優秀なIT技術者の確保を支援

■企業立地促進事業費補助金

創設 (1)「市町村立地基盤整備事業補助金」のメニューの新設【ソフト対策】



企業誘致を前提とした、市町村が実施するAI等による浸水予測や地質・地盤調査などの「立地適地調査」に対して補助

・補助率：1/2 ・補助限度額：5,000千円/年



創設 (2)事前復興型・企業防災減災支援事業の新設【ハード対策】

企業BCPに基づき、工場等の新增設と併せて実施する「津波・浸水対策」に対して、補助率の加算及び補助限度額の拡大

・補助対象：津波・浸水対策
 ・補助率：補助対象額に対して10%加算
 ・補助限度額：限度額を20%拡大

「ソフト・ハード両面」から企業立地の促進と既存拠点の拡大を支援

「徳島ならではの」手厚い支援で、企業立地の促進と強靱化、優秀な技術者の移住を促進

担当：企業支援課

新 Society5.0対応型耐震リフォーム支援事業



【令和2年度当初予算額 242,000千円】

背景

- ・住宅の耐震化率100%目標
- ・家族形態やライフスタイルの多様化
- ・利用予定のない空き家の増加



方針

- ・安全・安心な住まいの供給を強力に推進！
- ・住まいの側から社会的課題を先取りして解決！
- ・空き家利活用による移住希望者の受け皿づくり！

事業の概要

全国に先駆け「**住まいのスマート化**」を図る
耐震改修工事を支援



耐震化

+

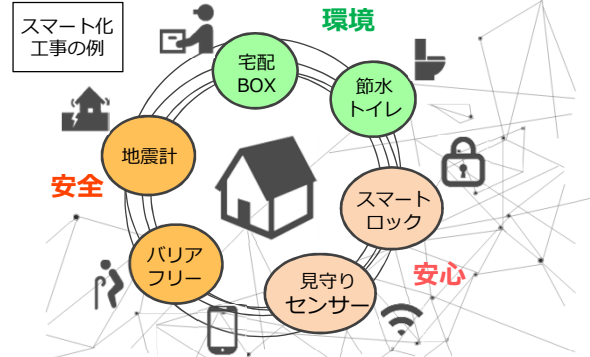
環境

安全

安心

- ・省エネルギー化
- ・CO2削減対策
- ・防災対策
- ・バリアフリー化
- ・防犯対策
- ・子どもや高齢者の見守り

様々な
ニーズに対応



耐震化

災害時の
安全安心

耐震性のない木造住宅の耐震改修工事を支援

- 耐震改修 **100万円**
(補助率4/5)
- +
- 火災予防 **10万円**
(補助率10/10)

最大 **110万円** / 事業費 135万円

※耐震シェルターや耐震ベッドの設置も引き続き支援対象

スマート化

耐震改修工事とあわせて
行うスマート化工事を
支援

平時の
安全安心

30万円
(補助率2/3)

空き家スマート化

観光客向け宿泊(民泊、
遍路宿等)・商業施設、
移住者向け住宅等への
リノベーション支援

地域活性化

320万円
(補助率2/3)

最大 **140万円** / 事業費 180万円

最大 **430万円** / 事業費 615万円

安全性と快適性を両立させた「スマート住宅」を実現

担当：住宅課・建築指導室

「自然・水素エネルギー」の導入推進！



【令和2年度当初予算額 122,550千円】

自然エネルギーの導入促進

- ESG投資の拡大を背景に、ビジネスにおける脱炭素化が加速！
- 災害を迎え撃つため、「一極集中型」から「**自立・分散型**」電力供給システムへの移行を推進

【緩和策】
温室効果ガス削減

急激に進む地球温暖化！

頻発化・激甚化する自然災害

【適応策】
電力レジリエンス強化

水素エネルギーの社会実装

- 2020年東京オリ・パラ 2025年大阪関西万博を契機として飛躍的に普及拡大！
- 「**走る発電所**」として災害発生時に活躍
 - FCV 一般家庭1週間分の電力を供給
 - FCバス 避難所1週間分の電力を供給

新 「自立・分散型電源」導入支援事業 (11,550千円)

『地域貢献型』自立・分散型電源」モデル構築事業

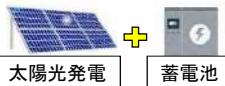
県内の事業用自然エネルギー発電設備を **災害時の非常用電源として地域で活用**するため、モデル事業を創設



モデル事業のイメージ

「自立・分散型電源」モデル設備整備事業

県有施設に **自立・分散型電源のモデル設備**を整備し、平時・非常時の電力供給に加え、普及啓発にも活用



自立・分散型電源導入資金貸付事業

商工労働観光部との連携

住宅用蓄電池の設置に必要な資金に対して **低利融資制度**を創設



「VPP」調査研究事業

VPP(仮想発電所)の導入可能性を調査・研究

VPPのイメージ



新 「地方発！水素社会」普及促進事業 (111,000千円)

「燃料電池バス」導入支援事業

民間事業者が行う「**燃料電池バス**」本県導入経費の一部を支援する **補助制度を創設**

企業局積立金の活用



- ・「燃料電池バス活用検討部会」開催
- ・「試乗会」等体感型の普及啓発

「燃料電池船」導入検討事業

産学官連携「**燃料電池船導入検討部会**」を設置
「ひょうたん島クルーズ船FC化」や「再エネ水素供給モデル」を検討



「水素ビジネス」普及拡大事業

四国経済産業局と連携した「**水素ビジネスフォーラム**」の開催

「燃料電池自動車」社会実装支援事業

民間事業者を対象とした、燃料電池自動車購入経費の補助制度

戦略的な普及啓発

FCパトカーはじめ既存ストックを活用した発信強化



「脱炭素社会」の実現・「災害に強いまちづくり」を徳島から！

担当: 環境首都課自然エネルギー推進室、労働雇用戦略課、企業局事業推進課

新防災センター（徳島中央警察署）施設整備事業



【令和2年度当初予算額 2,984,579千円】

1 目的 治安・防災の拠点となる徳島中央警察署庁舎をPFI方式により整備を進める。

※徳島中央警察署庁舎の新たな機能

- ・ 最高水準の耐震性の確保
- ・ 最大想定 of 津波への対応

2 事業内容 (1) PFI整備に係るサービス対価 2,890,781千円
民間ノウハウを活用したPFI手法により警察署庁舎の整備を進める。

(2) 埋蔵文化財発掘調査費 42,000千円
事業用地における文化財の整理及び報告書の作成業務を実施する。

(3) 建設モニタリング支援業務 9,416千円
建設工事に関する要求水準確保のための支援業務を実施する。

(4) 維持管理・運営モニタリング支援業務 2,382千円
維持管理に関する要求水準確保のための支援業務を実施する。

(5) 新庁舎備品整備等 40,000千円
取調べの可視化や画像解析等科学捜査に資する備品のほか、
「新防災センター」としての機能強化を図るための備品等を整備する。

3 今後の予定 令和3年春新庁舎供用開始

担当:拠点整備課

一步先の未来を見据えた病院づくり

3 千八までの人に健康と福祉を



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



【令和2年度当初予算額 348,220千円】

課題

- 救命救急機能の強化
- 医師の地域偏在、診療科偏在
- 医療人材確保
- 働き方改革



これまでの取組み

- 病院間の効率的な機能分化
- 「徳島医療コンソーシアム」の発足
- 研修医の受け入れ、寄附講座の活用
- 戦略的な投資の実践



令和2年度事業

新 県立中央病院ER棟(仮称)整備推進事業 【320,220千円】

総合メディカルゾーン本部の救急医療機能を強化するため、県立中央病院ER棟(仮称)整備に向け、設計等を実施

- ◆ 救急部門や集中治療部門等の機能拡充
- ◆ 医療従事者の教育・研修機能の充実



新 5G遠隔診療・遠隔診断事業 【24,000千円】

県立中央病院と県立海部病院を「5G回線」で結び、遠隔診療・遠隔診断を実施

- ◆ 質の高い医療の提供
- ◆ 病院間の診療支援体制の充実
- ◆ 患者、医師の負担軽減



新 「5G遠隔診療・遠隔診断」看護教育活用事業 【4,000千円】

総合看護学校において遠隔授業の実施



全国に誇る「救命救急体制」の確立

医療人材の育成・支援

徳島発先進医療モデルの構築

安心して暮らし続けられる医療提供体制の構築

新 効果実感！ジェネリック医薬品使用促進事業



【令和2年度当初予算額 15,462千円】

1 目的

- ★令和2年9月までに **ジェネリック医薬品使用割合 80%**
- ★ジェネリック医薬品の使用促進による **医療費の適正化**

2 現状

経済財政運営と改革の基本方針2017
 第3期医療費適正化計画(H30～)
 ジェネリック医薬品使用割合
 (平成31年3月 時点 数量ベース)

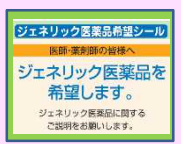
令和2年9月までに **使用割合:80%**
 ジェネリック医薬品の使用促進を **重点項目に位置づけ**
徳島県 70.8% 全国平均 77.7%

3 ターゲットに合わせたアプローチ

保険薬局



- ①ジェネリック利用シールの活用
 - ・薬剤師による丁寧な説明
 - ・ジェネリック医薬品利用への患者の意思を見える化
- ②「かかりつけ薬剤師」の活用
 - ・「かかりつけ薬剤師」による服薬の課題をチェック
 - ・藍色の「あいバッグ」によるジェネリック医薬品切換え → 医薬品管理を促進



医療機関



- ①ジェネリック医薬品情報提供事業
 - ・医療ビッグデータに基づく使用実績や安全性情報で切換えを促進
 - ・保険者と連携して、個別医療機関へレセプトデータの分析情報を提供
- ②県内主要病院等への使用促進事業
 - ・使用割合の低い医療機関への訪問強化
 - ・各医療機関と薬局との情報共有を促進
 - ・ジェネリック医薬品へ切換えやすい「一般名処方」の取組み促進

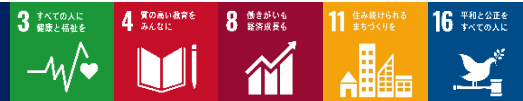
県民



- ①各世代への周知・啓発
 - ・若年層イベントでの啓発
 - ・薬学部学生への演習実施
 - ・県民向けセミナー等実施
- ②「おくすりロス」を考えるコミュニケーション事業
 - ・ジェネリック医薬品使用促進について県民、医療関係者、行政及び保険者で意見交換
- ③薬局薬剤師によるお薬相談窓口
 - ・消費者イベントで薬剤師による相談



徳島はぐくみプランの推進



【令和2年度当初予算額 1, 043, 152千円】

課題

○ 待機児童の解消 ○ 子育ての孤立感、負担感の軽減 ○ 児童虐待など、困難な環境にある子どもや若者の健やかな育成

「第2期徳島はぐくみプラン（後期計画）」： 子ども・子育てを取り巻く今日的課題に総合的に対応

結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう環境づくり

新 就業促進！ 保育人材確保強化事業 (10,500千円)

新卒・潜在保育士の確保・離職防止

- コーディネーターによるマッチング体制の強化
- 保育に特化したサイト刷新による情報発信
- 修学資金の貸付枠拡充や復職保育士への保育料貸付事業の創設
- 県内高校生や県外養成校生へのアプローチによる回帰加速
- 保育施設のICT導入や多様な働き方を促進



とくしま在宅育児応援クーポン事業 (50,000千円)

在宅育児家庭の負担軽減

- 一時預かり、ファミサポ、産後ケア など



新 とくしま子育てはぐくみ応援推進交付金事業 (32,000千円)

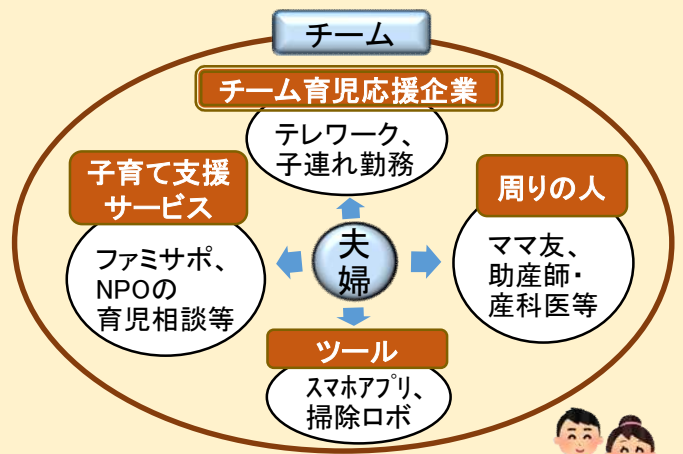
地域の実情に応じた支援

- 産休等代替職員確保事業
- フッ化物塗布推進事業 など

あらゆる主体が協働して子どもを育む社会づくり

新 企業が応援！ 「チーム育児」推進プロジェクト (1,000千円)

夫婦の協働を中心に、周囲に頼りながら楽しく育児を行う「チーム育児」を応援する企業の普及推進



子どもや若者が幸せを実感し、住みたいと思う地域づくり

新 被虐待児等すこやか育成事業 (56,696千円)

より家庭的な社会的養育の推進

- フォスターリング（里親養育包括支援）体制整備により里親等委託を推進
- 子ども家庭総合支援拠点の設置促進により市町村の家庭相談支援体制を強化
- 児童相談所の機能強化及び児童の権利擁護の強化
- 児童養護施設等における地域分散化・小規模化の推進



子どもの居場所づくり推進事業 (11,400千円)

ユニバーサルカフェを活用した子どもの居場所づくり

- 福祉施設等での「地域の居場所」づくりの推進

新 若者未来プラン実装事業 (2,000千円)

地方創生の若手リーダーを育成

- 若者の地域課題解決のアイデア実装を支援

新 多様な子育て支援推進交付金事業 (492,690千円)

多様な子育て支援の展開

- 一時預かり事業 ○ 地域子育て支援拠点事業
- ファミリー・サポート・センター事業 など



新 とくしま保育対策総合支援補助金事業 (86,866千円)

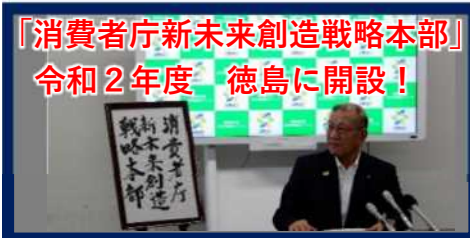
子どもを安心して育てるための環境整備

- 園外活動時の見守りを行う「キッズガード」の配置
- 医療的ケア児の受け入れを可能とする体制整備
- アクティブ・シニアを活用した県版「保育助手制度」の推進 など



新 徳島県次世代はぐくみ未来創造基金の創設 12億円(令和2年度:3億円積立)

希望出生率1.8の実現へ



<次のステージへ>

SDGs 12 つくる責任 つかう責任 **の実現**が
世界と**未来**へつながる
徳島で実感

新 世界に先駆け！ 未来につなぐ消費者行政・消費者教育事業 【44,100千円】

「国際交流」や「共同研究」を推進する「消費者庁新未来創造戦略本部」のカウンターパートとして強力に推進

発信・展開

全国発信

- 自治体サミットの開催
- 全国の消費者関係団体との連携を拡充
- 関西、中国、四国、九州をはじめ全国の自治体との連携強化

世界展開

- 徳島ならではの「国際連携ネットワーク」の構築
 - 国際会合やプロジェクト推進で培った人的ネットワークを見える化
- 国際会議の開催
 - 消費者庁とも連携し、国内外の有識者を交え徳島開催
- 世界に発信！情報プラットフォームの整備
 - 国内外への取組みや最新情報の英語による広報

世界を見据え・明るい未来をつかむ
新次元の消費者政策を徳島から実現

新 SDGsでつながる 消費生活レガシープロジェクト 【58,100千円】

浸透・定着

- 未来を担う若者を育てる消費者教育の推進
 - 特別支援学校版の学習コンテンツ作成
 - SDGsを学べる教材の作成やSociety5.0に向けたセミナーの開催
- エシカル消費の先に持続可能な世界が広がる
 - エシカル消費の認知度50%以上を目指しセミナーを開催
- 地域で実感！消費者行政の更なる充実化
 - 消費者志向経営の更なる普及・拡大に向け情報発信を強化
 - 消費者被害防止のために見守りネットワークのレベルアップ改善プランを策定

消費生活センター 「戦略拠点機能」強化事業 【142,021千円】

- 自立した消費者育成に向けた学びの機会の創出
 - どこにいても学べる消費者教育動画の配信
 - 消費生活コーディネーター・くらしのサポーターの県際間交流を活性化
- 消費者被害を防ぐ！消費者相談・全県域ネットワークの充実
 - 体制の構築から質の向上へ！相談員の対応能力を強化
 - 全国の相談員との交流を促進し、連携を強化
 - 相談員確保へ「消費生活相談員人材バンク」の運用開始

担当：消費者くらし政策課、消費生活創造室

新 進化する！ 障がい者地域共生拠点実装事業



【令和2年度当初予算額 270,050千円】

【これまでの取り組み】

- ◆障がい者とその家族が地域で安心して暮らせる、地域の課題に地域全体で応え支え合う本県ならではの「**地域生活支援拠点**」の整備を推進



【課題】

- ◆障がい者の自立と社会参加のための一層の工賃向上
- ◆障がい児者の地域移行を一層推進するため、地域の実情に応じた、子どもから大人まで切れ目なく支援する体制構築が必要

拠点機能を拡充強化！

地域で安心して暮らせる地域生活支援拠点を整備

○地域生活支援拠点の基本機能

- ・相談窓口
- ・緊急時の受け入れ対応
- ・日常生活の体験の場
- ・専門的人材の育成
- ・地域の体制づくり

**ワンストップで、
日常の相談から緊急時の
受け入れまで
同じ場所に対応！**

○「ユニバーサルカフェ」機能の付加

障がい者のみならず、地域の方々を結び、つなげ、地域全体で互いに支え合う体制を構築

地域の交流拠点！



○「福祉避難所」機能の付加

災害時には、障がい者をはじめとする要配慮者を支援する体制を構築

地域の防災拠点！



さらに！

地域の特性・ニーズに応じた機能を実装！

地域での自立と社会参加の促進に向けた支援体制を強化

○就労支援機能を一体整備

- ・生活介護、就労継続支援等の各サービス間の連携を図り、生産活動から福祉的就労、一般就労への移行を支援
- ・農福連携による障がい者の就農を促進
- ・特別支援学校等教育機関と連携し、就労・就農体験をはじめ、在学時から卒業後の地域移行を支援



障がい者就労支援機能を拡充！

○重度の障がい児支援機能を一体整備

- ・医療、教育等の地域の関係機関と連携し、在宅の重度心身障がい児、医療的ケア児等の地域での生活を支援



障がい児とその家族の地域生活支援機能を拡充！

インクルーシブな地域社会づくりによる地方創生の拠点として実装！

誰もが住みやすい地域共生社会の実現！



担当：障がい福祉課


発達障がい「つながる・ひろがる・はばたく」充実事業



【令和2年度当初予算額 9,800千円】


これまでの取組

自律型学習教材による「**学習支援**」




e-ラーニングを活用した「**教員の専門性向上**」

「**ポジティブな行動支援**」をモデル小学校等で実践



発達障がい教育「**徳島モデル**」を構築



取組の成果を「特別支援まなびの広場」としてホームページに公開中

ポジティブな行動支援で幼児児童生徒の社会性と主体性が向上!

発達障がい教育・自立促進アドバイザーチームとの協働
ポジティブな行動支援実践校が48校に拡充!

“発達障がい教育先進県”として、さらなる充実・進化!

特別な支援を必要とする子どもへの切れ目ない支援体制を整備

就学準備

学齢期の学び

職業的自立に向けて


幼稚園

- ICTを活用した**早期療育プログラム**のモデル実施
- ポジティブな行動支援の取組を「**地域ぐるみ**」で実施（「学校（園）ぐるみ」から「地域住民の参画」へ）

「**ポジティブな行動支援**」の展開を強化

小・中学校


- 一人ひとりの子どものつまずきに対応できる**自律型学習教材**の充実



高等学校

特別支援学校のノウハウを活かした教育

- 「**通級による指導**」の学習内容の充実（専門家の協働による指導プログラム開発）
- 関係機関と連携した**キャリア教育**の推進（「地域若者サポートステーション」等との連携）





通級の授業

特別支援学校

小・中学部 早期からの**キャリア教育の充実**

- 職業行動につながるスキル獲得のための専門家による**コンサルテーション**
- 教育・福祉の連携による早期からの**農業インターンシップ**





コンサルテーション インターンシップ

高等部

子どもたちの**働きたい思い**をアピール

- 農業関係を含む企業等と連携し**新たな就業体験機会**の創出
- テレワークによる就業体験を充実**（全ての肢体不自由学校で実施）



新たな職種への拡大

発達障がいのある子どもたちの社会的・職業的自立の推進

担当: 特別支援教育課

徳島県中小企業向け融資制度



【令和2年度当初予算額 22,931,000千円】

企業のライフステージに応じた、きめ細やかな金融支援

円滑な「事業承継」の推進

「事業引継ぎ支援資金」の保証料低減

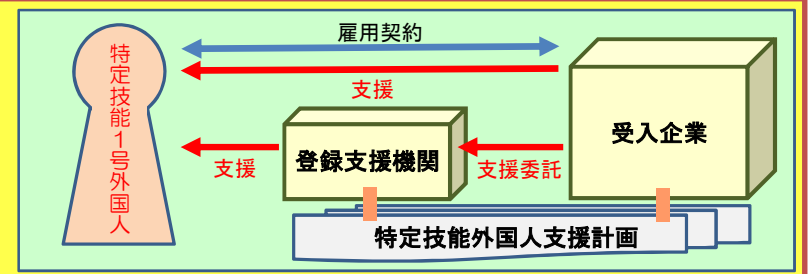
- 一定の要件(事業承継計画を有し、資産超過である等)を満たした上で、専門家の確認を受けることで、**経営者保証が不要かつ保証料を低減**
保証料率：年0.45%~1.05% ⇒ **年0.20%~0.90%**



深刻化する「人手不足」に対応

新「外国人材受入支援資金」の創設

- 専門性・技能を有する「特定技能外国人」を受け入れ、**人手不足の解消・緩和を図る**
 - 「特定技能外国人支援計画」に基づく事業活動を支援
- ・融資限度額：2,000万円
・融資期間：運転7年、設備10年以内
・融資利率：年1.70%以内
・保証料率：年0.45%~1.05%



「起業・創業」の推進

「創業者無担保資金」の市町村連携の拡大

- 「創業者無担保資金」利用者への**保証料補助実施市町村を拡大**
R元年度 6市 ⇒ **R2年度 7市**

保証料 0%

創業者無担保資金
保証料率：0.50%, 0.10%, 0.00%
→ 市補助により保証料率 **0.00%** へ
[吉野川市・鳴門市・小松島市・阿南市・阿波市・美馬市・三好市]

「小規模事業者」への対応

「消費税増税対策」の継続

- 「短期事業資金」融資限度額拡大の継続 1,000万円 ⇒ **1,500万円**
- 「小口資金」保証料率引き下げの継続 年0.30%~1.25% ⇒ **年0.30%~1.15%**



経営基盤の安定化と成長力の強化を図り、SDGs実装へ！

① にし阿波・外国人財誘致促進事業



【令和2年度当初予算額 7,000千円】

- 1 目的 海外・外資系企業のサテライトオフィスの誘致を実現するため、外国人ビジネスパーソンの滞在・定着を誘引するとともに、海外のニーズに合った広報戦略を展開する。
- 2 事業内容
- (1) 外国人ビジネスパーソンの誘致 1,500千円
国内在住の外国人起業家や企業関係者に対する地域の魅力発信及び体験ツアーの実施
 - (2) 企業間ビジネスマッチングの推進 3,000千円
外資系企業等と地元企業との連携による地域ならではの新ビジネスの創出や新商品の開発
 - (3) 海外のニーズ等の情報収集・分析 960千円
にし阿波ゆかりの海外在住事業者と連携した国別ニーズ調査の実施
 - (4) トリプル認定を戦略的に活用した広報活動 1,440千円
海外のニーズ等に合わせたプロモーション活動と現地でのネットワークづくり
 - (5) にし阿波・外国人財誘致プロジェクトチームの運営 100千円
県民局、2市2町、そらの郷、地元企業、SO進出企業等によるプラットフォームの運営
- 3 今後の方針等 「海外に選ばれる／海外を惹き付ける」地域づくりを推進する。

誰もが輝く男女共同参画推進プロジェクト



【令和2年度当初予算額 118,550千円】

施策の背景

- ◆女性活躍推進法 ◆働き方改革関連法
- ◆第4次「徳島県男女共同参画基本計画」策定



女性・若者の活躍に向けた **地域の核となる人財の育成** と **ときわプラザの機能強化** を推進

内容

人財育成

新 女性・若者が主役へ！
地域参画人財育成事業(9,000千円)



機能強化

女性活躍ワストップサービスセンター
(仮称)整備事業(107,550千円)

女性・若者向け	学生向け	県民向け
とくしまフューチャーアカデミー <ul style="list-style-type: none"> ○市町村推薦枠の設定 ○NPO等をプラットフォームとした実践的なプログラムの追加 ▶ 地域の核となる人財育成 ▶ 政策・方針決定過程への参画促進 	関係性構築プログラム <ul style="list-style-type: none"> ○地元企業・NPO等と連携 ○若者の定着に向けたボランティアとインターンの複合的実施 ▶ 地域との関係性構築 ○受講生による実装に向けた「地方創生のアイデア」創出 	啓発・交流イベント <ul style="list-style-type: none"> ○男女協調月間 ▶ 効果的啓発の実施 ▶ イベント参加者の受講への意識付け ○女性リーダーとの交流 ▶ 世代を超えたつながりの創出

ときわプラザ（徳島県立男女共同参画交流センター）

ワンフロア化で利便性アップ

- 事務室等を2階に移転、全ての機能をワンフロア化、フロア全体のWi-Fi化で利便性向上

相談機能の強化

- 「すだちくんハローワーク」と連携したサテライトでの就労相談等を実施

子育て支援機能の充実

- 平日の就労相談等の各種相談時や週末のイベント参加時にも、気軽に子どもの一時的預かり利用可



将来の女性・若者リーダーの育成

実装の場

地域での活躍

アイデアの具現化

専門的育成

ウーマンビジネススクール
女性起業塾
アグリビジネススクール
林業アカデミー
水産アカデミー
etc...

自治体・NPO等

県審議会等参画
市町村審議会等参画
男女共同参画推進団体
地域活動（子ども食堂・ユニバーサルカフェ等）
etc...

新 若者未来プラン実装事業 (2,000千円)

「関係性構築プログラム」においてアイデアを創出した学生を中心に具現化（次世代育成・青少年課連携事業）

リニューアルオープニングイベントの実施により多様なニーズに対応した「ワンストップサービスセンター」として**広く県民へ発信！**

令和2年度中の完成をめざして

ソフト面とハード面の整備により、「男女共同参画立県とくしま」を実現！

「守り」を固めて「攻め」に転じる本県畜産業の強化策



【令和2年度当初予算額 236,228千円】

事業背景

- ・国内での「CSF」発生や、近隣諸国で猛威を振るう「ASF」など、本県への「伝染病侵入リスク」の高まり
- ・「TPP11」や「日EU-EPA」、「日米貿易協定」など「自由貿易圏の拡大」

事業目的

国内外から評価される「安全・安心な本県畜産物」を確立するため、「家畜衛生対策の強化」及び「生産基盤の充実」、「畜産ブランドの海外輸出に向けた取組み」を加速化することにより、競争力の高い持続可能な畜産業を実現。

事業概要

「守り」の対策

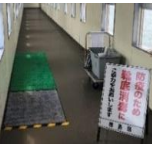
新 海外悪性伝染病防疫対策強化事業 【7,000千円】

県内侵入防止のための水際防疫対策強化

空海港での靴底消毒設置



阿波おどり空港



徳島港

検疫キャンペーン



肉製品の違法な持込防止



発生時の備え

防疫演習等実施



防疫訓練 泡殺鳥機

農場野生鳥獣監視・対策強化



消石灰散布

防鳥ネット

- ・関係機関と連携し、家畜衛生に関する情報提供
- ・野生鳥獣実態調査及び病原体保有状況調査
- ・野生鳥獣検査の充実と消毒の推進

新 畜産研究課 本館機能強化事業 【195,228千円】

施設の老朽化



畜産研究課本館

浸水被害への対策強化

長寿命化



吉野川氾濫時の浸水マップ

上板町の増設要望

研究機能の確保

- ・外壁補修・非常用電源・
- ・上水タンク・シャワー・
- ・多目的トイレなど

避難所機能の付加

「攻め」の対策

新 「とくしまの酪農・乳業生産基盤強化事業」のうち 「徳島県生乳生産基盤確保対策」 【24,000千円】

牛繁殖施設(CBS)整備

県酪農協(CBS運営)



県有牛遺伝資源活用 (精液・受精卵)

発情発見システム導入

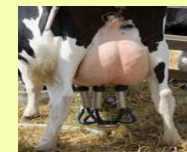
IoT活用

育成牛に授精・移植

初妊牛提供

酪農家

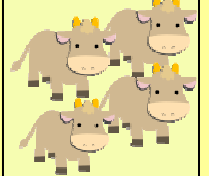
- ・乳牛増頭
- ・生乳増産



肉用素牛提供

肉牛農家

和牛増頭



新 「とくしま三ツ星ビーフ」販路拡大強化事業 【10,000千円】

国内における認知度向上に向けた取組み

- ・「とくしま三ツ星ビーフ」旨味成分検査
- ・国内大消費地や食肉処理施設等での販路拡大に向けたPR活動



海外輸出展開

- ・海外用商標登録
- ・海外向け多言語サイト設置
- ・加工品開発
- ・ハラール圏でのイベント開催



「畜産GAP」取組み



先進的な認証取得支援 (講習会開催等)

事業効果

海外市場も視野に入れた「足腰の強い『もうかる畜産業』」の確立

担当：畜産振興課

新「猪・鹿・猿 調査分析・集中捕獲」事業



【令和2年度当初予算額 34,400千円】

1 背景 本県では、年2万頭以上の鳥獣を捕獲しており、農作物被害額は減少に転じたものの、依然として1億円以上で推移し、農林業者をはじめ、住民の方々に被害軽減を実感してもらえるよう、捕獲を強化する必要がある。
また、愛媛県や高知県との県境付近には、高密度にニホンジカが生息しているが、急峻な地形や、入山者が多いことなどから、十分な捕獲圧がかけられていない。

2 目的 ニホンジカやイノシシ、ニホンザルによる農林業等被害を軽減するため、科学的なデータ分析と生息状況等調査により、効率的・効果的な捕獲や防護を展開する。

3 事業内容

調査・分析

【分析】

- (1) 新 野生鳥獣管理データ統合分析事業 4,000千円（補助率：国 1/2）
- ◇ 新たに集落単位で、鳥獣被害実態や鳥獣害対策実施状況を調査
 - ◇ これまで蓄積してきた生息状況や捕獲、農作物被害などのデータと統合・分析して生息情報や被害程度等を地図化し、効率的な鳥獣害対策に活用

【調査】猿

- (2) 新 鳥獣スマート調査事業 10,000千円（補助率：国 定額）
- ◇ ニホンザル生息地をドローンで同時センシングし、AIを用いて映像解析
 - ◇ 個体数や群れの状況を正確に把握し、個体数半減や更なる捕獲を強化

【調査】猪

- (3) イノシシ出没危険度調査事業 1,000千円（補助率：国 1/2）
- ◇ 市街地のイノシシ出没危険度調査を実施し、捕獲を強化

集中捕獲

【捕獲】鹿

- (4) 新 ニホンジカ広域連携捕獲事業 9,400千円（補助率：国 1/2）
- ◇ 愛媛県・高知県と連携、県境付近で高密度に生息するニホンジカを集中捕獲
- (5) ニホンジカ ピンポイント捕獲事業 10,000千円（補助率：国 1/2）
- ◇ ニホンジカが高密度に生息する「剣山・三嶺付近」で集中捕獲

4 効果

- ▶ 科学的なデータ分析に基づく、効果的な鳥獣被害対策の推進
- ▶ ニホンザル加害群や市街地近郊のイノシシに対する、効率的な捕獲圧の強化
- ▶ ニホンジカ高密度生息地での集中捕獲による、農林業等被害の減少

担当：鳥獣対策・ふるさと創造課



新 交通事故抑止対策事業

～交通事故抑止に向けた新たな取り組み～

交通情勢を巡る課題

- ◆ 高齢ドライバーによる交通事故への対応
 - ◎ 東京・豊島区(池袋)における高齢ドライバーによる暴走事故
 - ◎ 福岡市における高齢ドライバーによる多重事故 等
- ◆ 児童等が被害者となる交通事故への対応
 - ◎ 滋賀・大津市における重大事故 等

課題への対応

- ◆ 高齢ドライバーに対する安全対策の強化
 - ◎ 運転に不安を感じる高齢ドライバーへの支援
 - ◎ 運転免許証を自主返納しやすい環境の整備
- ◆ 通学路等における安全対策、見守り活動の強化
 - ◎ 悪質・危険性の高い違反に対する取締りの強化



事業概要

● 高齢ドライバーの安全対策

◆ 運転適性相談の拡充

「物忘れプログラム」を用いた、「認知機能チェック」の実施

◆ 安全運転支援装置の体験

運転技能簡易教習における安全運転支援装置の体験

◆ 認知機能や判断能力の低下等の再認識

◆ 運転免許証を自主返納しやすい環境の整備

● 児童等の安全対策

◆ 通学路等における交通指導取締りの強化

◆ 場所的・時間的・体制的制約を受けない取締り

◆ 可搬式速度違反自動取締装置の効果的活用

◆ 通学路等における速度抑制対策の推進



～ 交通事故のない 安全・安心を誇れる徳島県の実現 ～

担当:交通指導課、運転免許課

生活困窮者自立支援・ひきこもり支援の強化



これまでの取組み

生活困窮者への総合的な相談・支援体制の確保

- 自立相談支援事業
 - ・個人に合わせた支援計画の作成，就労・家計再建等の生活困窮課題解決に向けた相談支援の実施
- 家計改善支援事業
 - ・生活困窮者の家計の管理能力の向上を図るためのきめ細かな相談支援の実施
- 就労準備支援事業
 - ・一般就労することが困難な者に対する知識・能力向上を図るための生活・社会訓練の実施

ひきこもり当事者等への相談・支援の実施

- ・ひきこもり地域支援センター「きのぼり」における電話・面接相談，関係者間の連携促進，啓発活動の実施

要支援者に対する
新たな取組み

新たな施策の展開

【令和2年度当初予算額 24,760千円】

新 生活困窮者アウトリーチ強化事業（22,737千円）

アウトリーチによる相談支援体制強化の拡充

アウトリーチ支援員の配置（6名）により，要支援者への「能動的支援」を実施し，「ひきこもり地域支援センター等」関係機関と連携した「伴走型支援」を展開！

就労支援の機能強化

企業開拓員の配置により，複雑な要支援者の状況に対する，「自立に向けた就労支援体制」を強化！

新 ひきこもり対策専門家支援事業（2,023千円）

- ・南部・西部地域にサテライト相談拠点を設置し，支援体制を充実・強化
- ・医療・心理・福祉・就労支援等の専門家による関係機関への助言
- ・ひきこもり当事者が安心して過ごせる居場所づくり

支援体制

【課題】

自ら相談できない者に対する支援体制の強化

支援者側からの能動的アウトリーチの実施！

相談

地域
(民生委員等)

○「伴走型支援」の展開

自立支援相談機関

自立相談支援窓口の強化！

アセスメント
の実施

家計改善
支援

アウトリーチ支援員を6名配置
訪問支援・同行支援を強化！

ひきこもり地域支援センター「きのぼり」
※新たに南部・西部にサテライト相談拠点を設置

連携
つなぎ

連携・助言

各種連携により，多様な支援ソースを活用！

庁内連携(連絡会議)
・市町村課，住宅課，税務課，経営推進課，教育委員会など

庁内外連携(支援調整会議)

・町村役場，保健所
・司法関係機関
・労働関係機関 など

自立に向けた支援プランの作成

・地域包括支援センター など

仕事づくり
・
出口づくり

連携・情報共有
による
「支援の輪」づくり

就労準備支援機関

応募書類
作成支援

就労体験・訓練
ビジネスマナー
面接対策

企業開拓員を1名配置
就労体験，就労訓練先の開拓
による就労支援体制を強化！

NPO・ひきこもり支援団体

多職種・専門家チーム

安心して過ごせる居場所づくり

「ローカル5Gプロジェクト」

～5Gの超高速・超低遅延・多数同時接続をフル活用～



【令和2年度当初予算額290,700千円】



5G対応計画

徳島には5Gを支える 光ファイバ網がある！

全国屈指の光ブロードバンド環境を
最大限活用！県内CATV事業者と
協力し、ローカル5G環境を構築

- ・ トップバッターとして
5Gの「地の利」を活かす
- ・ 全国知事会の政策提言の成果！

○ R元開始

全国に先駆けて
県でローカル5G免許申請

○ R2

万代庁舎、河川監視、遠隔医療、
企業等支援機関等から整備開始
VRや4Kリアルタイム動画にも対応

地方における5Gモデルを
徳島から世界に発信！

県庁スケッチブック計画 パソコンを机から解き放つ 《県庁無線化の実現》

他課でも、会議室でも、
自宅でも**業務継続が可能！**
スケッチブックのように
常にパソコンを持ち歩いて
仕事ができる!!

○ R元～R2で整備

まずは**万代庁舎**
ペーパーレスに対応！

○ R3から本格運用開始



担当:スマート県庁推進課、地域振興課、新未来産業課、産業人材育成センター、経営改革課

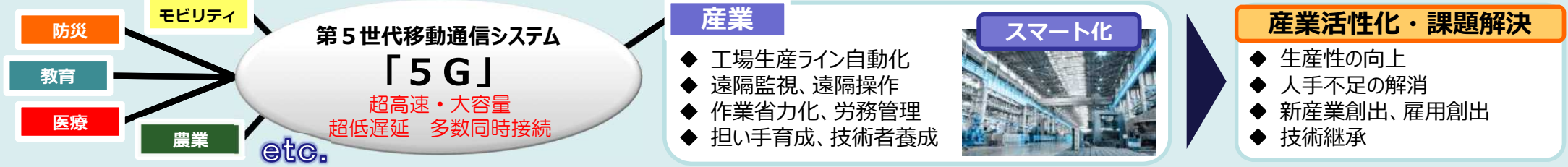
既存光ファイバ網を活用し全県展開！ 地域の課題解決

- 防災情報をタイムリーに発信
ドローンや河川監視カメラによる
高精細な4K動画をリアルタイム伝送
迅速かつ適確な災害対応！
- 最先端の遠隔診療・遠隔診断
**医療情報共有の通信基盤による
県内チーム医療の推進！**
- 企業の5G環境構築を支援
中央テクノスクール・工業技術センター
に5G環境を構築・企業向け研修実施！
- 5Gで農業高度化・自動化支援
スマート農業技術の実証・発信！
- 5Gで臨場感のあるライブ会議
双方向性の高い遠隔会議へ進化！
- 消費者連携5Gプラットフォーム設置
産学官金労言の未来創造基盤！

「5G実装」による産業イノベーションの推進

⑨ 5Gスマートファクトリー推進事業【令和2年度当初予算額10,000千円】

⑨ 5G技術対応エンジニア育成事業【令和2年度当初予算額4,800千円】



⑨ 5Gスマートファクトリー推進事業

連携

⑨ 5G技術対応エンジニア育成事業

5G技術活用支援拠点

産学官連携によるプラットフォームを設立し、活用事例の検証や技術支援により県内企業への5G実装を推進!!

5Gエンジニア育成拠点

企業で活躍中の技術者や訓練生、高校生等を対象に技能訓練、在職者訓練、技術講習会、体験学習の実施により新技術対応人材を育成

5Gオープンラボ

5G情報発信

○ 5G体感ゾーン設置

- ・5Gの速度体感
- ・5G機器操作体験
- ・セミナー等の開催

知る

5G技術研究開発

○ 5G実証フィールド

- ・企業・大学の技術研究開発の性能評価・機能改善をサポート
- 5G共同研究・開発
- ・企業・大学の5Gを活用した技術・製品の開発を支援

使う




5Gものづくりネットワーク

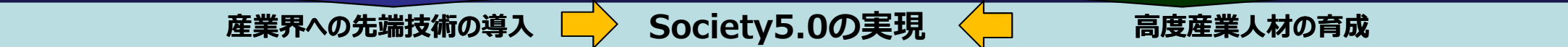
○ 県内企業の技術力を発信し、異業種連携を促進

・5G関連展示会への出展支援、協業・マッチング支援

繋がる

5Gインフラ整備オールインワン人材育成 **育てる**

電気技術	通信技術	無線技術
<p>○ 様々な電気設備に対応できる人材育成</p> <p>・「電気工事士」資格の取得を目的とした訓練の実施</p> 	<p>○ ネットワーク通信に対応できる人材育成</p> <p>・「電気通信設備工事担任者」資格の取得を目的とした訓練の実施</p> 	<p>○ 5G無線通信に対応できる人材育成</p> <p>・「陸上特殊無線技士」資格の取得を目的とした訓練の実施</p> 





5G地域実感！体感機会創出事業

【令和2年度当初予算額 6,000千円】

2020年春
大手携帯キャリアによる
5G商用サービス開始

5Gの普及は、収益性の高い
都市部で先行し、地方は
後回しになることが懸念される

5Gは地方にとって必須の
情報通信インフラであり、
早期展開が必要

5Gの利活用を
推進

県が先行して取り組み、市町村への横展開を推進

4K360度VR配信・会議システム導入

- ✓ 双方向のコミュニケーションが向上
- ✓ 双方が空気感を共有し、議論が深まる

高精細
360度
カメラ

5G
4K映像

5G
4K映像

高精細
360度
カメラ



万代庁舎

5G
徳島県庁
ローカル5G



県民局庁舎

- ・市町村職員を始め参加者が5G体感
 - ・革新技術実装の機運を醸成！
- スマート自治体化を促進

更なる活用

教育

学習機会の
充実

遠隔教育の
体験

(文部科学省HPより)



防災

防災対応力の
強化

防災訓練での
活用



キャリア5G
基地局の
整備が進めば

観光PR等において、
現場から臨場感のあるライブ映像を配信



ラフティング



人形浄瑠璃

5Gを活用した地域課題解決を推進し、地方創生を実現！

担当：地域振興課

新 Society5.0時代に対応したスマート農林水産業の推進



【令和2年度当初予算額 77,267千円】

農林水産分野における生産性の向上、次世代への技術継承を図るため、5G・AI等Society5.0時代に対応したスマート技術を生産現場や研究分野でフル活用し、省力化・高品質化技術及び熟練者の技や経験を見える化するシステムの開発・実装を加速

新 5G活用スマート農業実証事業

◆農業分野における「5G」活用の実証

【11,352千円の内数】

- ・農林水産総合技術支援センター内にローカル5G基地局を設置し、5G実証フィールドを開設
- ・遠隔診断・技術指導、生育状況のリアルタイム配信を実証



園芸産地総合リノベーション事業

◆スマート技術の生産現場への実装・普及

【13,000千円の内数】

- 新 トンネルニンジンにおけるICT栽培管理支援システムの実装
- 新 シンビジウムにおけるICT環境制御技術の実装



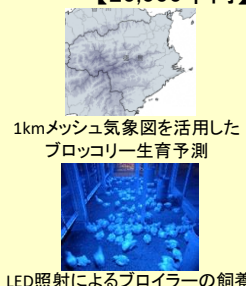
フィールドサーバーを活用したICT栽培管理支援システム

生産性革命を実現する徳島スマート農林水産業展開事業

◆スマート農林水産技術の開発・実証

【20,000千円】

- 新 ビッグデータを活用したブロックリー生育予測等技術の開発
- 新 AIを活用したブドウ果房の最適管理法の開発
- 新 UV-LEDを使った鶏舎光環境システムの開発
- 新 ドローン等を活用した林業情報取得技術の開発 等



1kmメッシュ気象図を活用したブロックリー生育予測

LED照射によるブロイラーの飼養

新 資源・漁獲情報ネットワーク構築事業

◆ICTを活用した「資源管理データ」収集・分析

【10,415千円】

- ・音声入力システム導入による漁協水揚げ伝票のデジタル化
- ・漁協におけるデータ抽出・送信作業のワンクリック化
- ・漁具に装着した観測機器から精度の高い操業・環境データを収集し、リアルタイムで漁業者へ配信



新 スマート農業経営モデル確立事業

◆「スマート技術一貫体系」を生産現場に実装

【20,000千円】

- ・モデル経営体(野菜)にスマート技術を導入し、技術面・経営面から効果検証

見せる・体験できるモデル農場として公開し、農業者への普及推進



自動走行トラクター

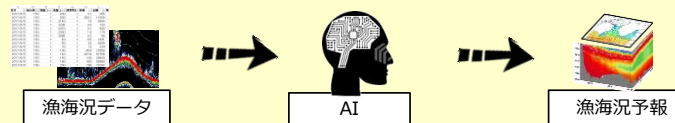
ドローン

新 漁海況予測システム構築事業

◆AIを活用した「匠の技」の共有化

【2,500千円】

- ・経験の少ない若手漁業者でも、効率的な操業が可能となるよう1週間先の漁海況を予測するAIシステムを構築し、予測情報を配信



イノベーションを加速させ、農林水産業の成長産業化を実現！

担当：もうかるブランド推進課・水産振興課・農林水産総合技術支援センター経営推進課

未来につなげる広報広聴事業

【令和2年度当初予算額 159,557千円】

目的 人口減少等による社会情勢やSNSの普及によるメディアの利用環境の変化に対応するとともに、「5G時代」を見据え、国内外により多くの「徳島ファン」を獲得するため、新機軸の広報を展開する。

ホームページ  テレビ  広報紙  動画 

各媒体の入り口となる 県公式Twitterの発信力強化

新 AI要約すだちくん SNS発信事業 【事業費：4,000千円】

AI要約で県公式Twitter配信

事業内容

県HPの記事をAI要約し、県公式Twitterにツイートするシステムを実証実験として導入

効果

- 配信回数の増加
1日に複数ツイートが可能に！
- 配信内容の充実
魅力ある動画を配信
- 緊急時も迅速に対応
24時間365日の自動ツイート体制構築



インプレッション
10万人突破！



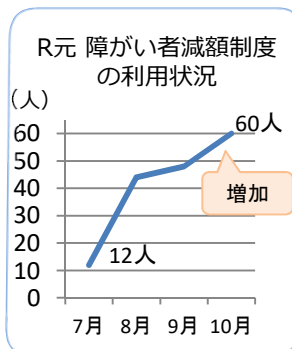
旬な情報をタイムリーに発信！世界から注目される徳島の実現!!

担当：秘書課

現状

これまでの取り組み

- H28～H29 藍場町地下駐車場のトイレ洋式化
- H29 案内表示の多言語化
- R元 藍場：平日に加え
土日祝日も上限制導入
松茂：1日目の上限単価の値下げ
障がい者の方への減額制度導入



課題

- ▶ キャッシュレス社会が進展する中、
多様な支払いへの対応が必要
- ▶ 地下駐車場は暗いというイメージの払拭が必要
H30 藍場町地下駐車場アンケート結果
明るくしてほしい 256人/1,252人
- ▶ 高齢者・障がい者をはじめ、
すべての方が安心して利用できる
環境の整備が急務



対策

便利

多様な支払いに
対応可能とするため



松茂
料金システム
更新に併せ



キャッシュレス化

安全

明るく運転しやすい
駐車場とするため



藍場・松茂 照明のLED化



安心

すべての方に
使いやすい駐車場とするため



藍場 第2駐車場
ユニバーサルデザインの
エレベーター更新



パーキング
パーミット区画増

さらに便利で安全・安心な駐車場をめざして

担当：経営企画戦略課

新 徳島県イノベーション創出推進事業



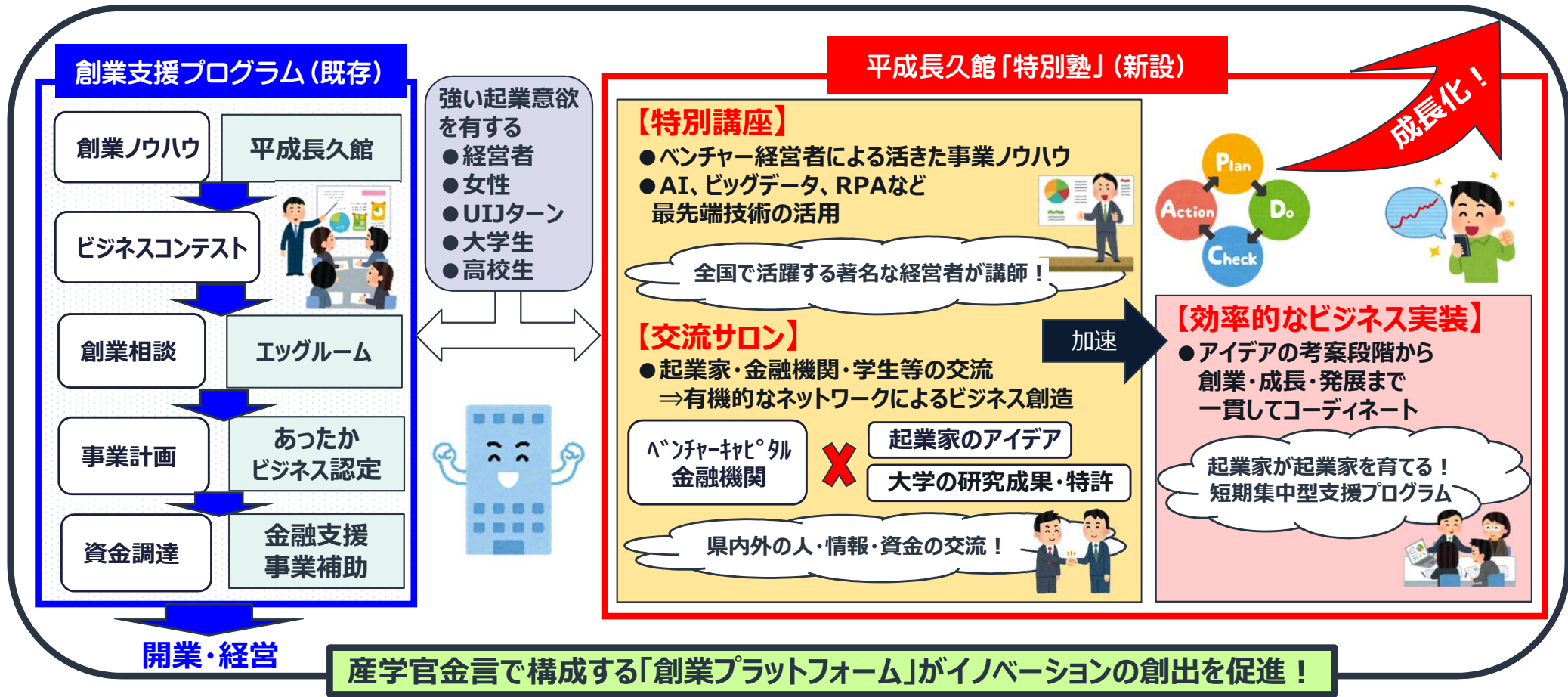
【令和2年度当初予算額 8,000千円】

背景

- ・人口減少による労働力不足や働き方改革の推進など産業・社会の構造が大きく変革
 - ➡ 県内産業の持続的な発展には、Society5.0を実現する最先端技術を活かしたイノベーションが必要
- ・次代を担う本県の若者は、徳島の強みを十分認識せず、都市圏へ転出する傾向
 - ➡ 徳島の地域資源（ブロードバンド環境・IT関連企業の集積）を活かした若者の起業や都市圏からの参画が必要

事業概要

本県経済を牽引する成長ビジネスの創出に向けた「創業エコシステム」を構築



徳島をイノベーションの一大拠点に！

農林水産業未来創造基金活用事業



【令和2年度当初予算額 541,000千円】

TPP11, 日EU・EPAに続く日米貿易協定にも機動的・戦略的に対応し、本県農林水産業の競争力と生産基盤を一段と強化するため、「農林水産業未来創造基金」を活用し、農山漁村未来創造事業をはじめとする「攻め」と「守り」のグローバル化対策を展開

農林水産業未来創造基金

- ◆ 平成28年4月に県単独で創設。財源を「見える化」し、農林漁業者の不安を払拭
- ◆ 平成28年度から、5年連続・年間5億円を積立

25億円造成完了!

効果的に活用

守りの対策

攻めの対策

新規 農地集積型

農地中間管理機構を活用した

担い手への農地集積促進の取組みを支援

- ◆ 補助率(上限) : ①機械・施設の整備 : 3/10以内(2,000千円)
- ②県版 農地集積協力金 : 定額(10千円/10a)
- ③耕作放棄地の再生 : 定額(70千円/10a)

新規 防疫対応型

家畜伝染病の緊急対策を支援

発生予防, 衛生対策, まん延防止対策 **即時に対応**

政策推進型

農林水産基本計画の実現に

向けた「推進エンジン」となる取組みを支援

農山漁村未来創造事業

【基金300百万円】

企画提案型

地域の創意工夫に基づく取組みを

ハード・ソフトの両面から支援

- ◆ 補助率(上限) : ハード 1/2以内(原則20,000千円)
- ソフト 定額(2,000千円)
- ◆ 事業期間 : 最長3年間

優先採択

補助上限額を25,000千円に引き上げ、重点的に支援

- ① AI, IoT, 5G等を活用したスマート農林水産業の実装
- ② 40歳未満の若手農林漁業者による取組み
- ③ 国際認証の活用や輸出型産地形成による海外展開
- ④ 農林漁家民宿の改修等によるインバウンド誘客促進
- ⑤ 研修施設整備等による円滑な外国人材の受入れ
- ⑥ 障がい者の活躍を推進するための取組み



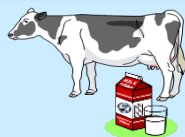
- ◆ 新規就農者への営農支援など、県内生産基盤を強化

経済グローバル化への対応

【基金241百万円, 国費1,148百万円】

- ◆ 海外市場の販路開拓など、国際競争力を強化

- 次世代を担う新規就農者への県独自の資金交付制度を創設
- 国内外の環境変化に対応するため、牛乳・乳製品の生産拠点を整備し、もうかる酪農業を実現



- エシカル農産物のGAP等の国際認証取得を支援
- 新ブランド「とくしま三ツ星ビーフ」の県外・海外販路を拡大



経済グローバル化対策をさらに加速し、「もうかる農林水産業」を実現!

担当: 農林水産政策課

新

「とくしま農林水産物等海外輸出戦略」推進事業

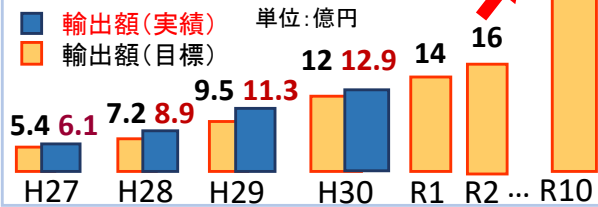
2 目標を
実現

8 2020年度
目標達成

12 つくしま
の未来を
つなぐ

【令和2年度当初予算額 150,635千円】

本県輸出金額の推移



目標達成に向けた「5本柱の戦略」

1. 販売ルートを「より太い幹」へ！
2. 大胆な発想と知恵で「新たな市場」にチャレンジ！
3. 新たな「物流ルート」を構築！
4. 海外市場の開拓に取り組む「多様な主体」を育む！
5. 相手国の輸入規制をクリアする「輸出型園地」を育成！

エリア戦略で拡大する
「世界の食市場」にチャレンジ！

世界の食市場
【2009年:340兆円】 → 【2020年:680兆円】



1 販売ルートを強化「より太い幹」へ育てる

輸出に取り組む生産者のサポート

○とくしま輸出バリューチェーン構築強化事業 6,000千円
生産者や事業者のニーズに対し、きめ細やかな支援で対応！



海外マーケティングの実施

○とくしまブランド海外プロモーション事業 6,100千円
東南アジア向け「なると金時」等のシェアを拡大！



業務需要・ミドル層需要の獲得

千両

目指せ
250トン！

○成長するASIAを拓け！「輸出ハイウェイ」展開事業 16,500千円
香港に続き、東南アジアでの業務需要の獲得を目指す！

○新 世界へ羽ばたけ！機内食需要獲得事業 3,350千円
機内食需要を取り込み、県産食材を世界の食市場へ！



3 新たな物流ルートの構築

○徳島県産海外コールドチェーン構築事業 2,850千円
海外輸出における鮮度保持技術等の確立！



エアーも 船も！

5 輸出型園地の育成

○検疫クリア！輸出型園地「倍増」事業 4,600千円 「植物検疫」・「残留農薬基準」を打破する輸出型園地の拡大！
○グローバル化に即応！農林水産物等輸出拡大事業（グローバル産地づくり推進事業） 72,000千円
輸出相手国の規制に対応した産地づくりをソフト・ハードの両面から支援！



2 新たな市場の開拓

EU市場

「とくしま三大香酸かんきつ」の需要拡大

○OGIを活用！EU「とくしま三大香酸かんきつ」需要拡大事業（徳島によろこそ！EUトップシェフツアー事業） 3,300千円
EUのトップシェフが徳島を回るツアーを開催、生産者との交流の場を促進！



ハラール市場

ハラール商品の需要拡大

○グローバル化に即応！農林水産物等輸出拡大事業（とくしまハラール販路開拓・拡大事業） 11,700千円
東南アジア・中東に加え、「国内需要」も掘り起こし。ハラール牛肉 30トンへ輸出拡大！



倍増の30トンへ！

中国市場

デジタルで巨大市場にチャレンジ

○新 巨大市場を開拓！デジタル貿易事業 3,000千円
ECサイト(eコマース:電子商取引)を活用し「中国」という巨大市場へ新たにアプローチ！

・eコマース(電子商取引)で出展者を支援！



4 輸出に取り組む人材の育成

○世界の荒波「武者修行」事業 3,300千円
海外展開を目指す意欲ある事業者を発掘・支援！



エリア戦略！

前年度比
約9倍増！

なると金時を
アジア・北米へ
かんきつをEUへ

担当：もうかるブランド推進課



[商工労働観光部]

新 宿泊施設の投資促進

背景

(新) 宿泊施設投資促進事業【令和2年度当初予算額 10,000千円】 ○ 宿泊施設リノベーション支援事業【令和2年度当初予算額 60,000千円】

■本県の宿泊に関する現状

- ・延べ宿泊者数
222万人(2018年 47位)
- ・ホテル営業客室数
3,195室(2017年度 47位)
- ・従業員30人以上の宿泊施設数
33施設(2018年 47位)

■国の数値目標

● 三大都市圏以外の地方部での外国人延べ宿泊者数

- ・2012年 855万人泊
(うち徳島県 4.5万人泊)
- ・2017年 3,266万人泊
(うち徳島県 10.2万人泊)

・2020年数値目標

7,000万人泊

・2030年数値目標

1億3,000万人泊
(2020年の1.86倍)

■大阪・関西万博を迎え、これからの宿泊施設においては

・魅力のある宿泊施設を増やし、既存宿泊施設の客室稼働率の上昇が必要！

既存施設のリノベーション

・インバウンド需用の受け皿として、新たな宿泊施設の整備促進によるキャパシティの拡大が必要！

宿泊施設の新増設

県内既存宿泊施設の魅力アップ支援

宿泊施設リノベーション支援事業補助金

既存宿泊施設

資本金5千万円以下または従業員200人以下

福祉避難所指定

●客室の増室

<事業例> 宴会場や大部屋、倉庫等を改修

- ◎ 10室以上増室 補助上限額 2,000万円 (補助率1/2)
- ◎ 2室以上増室 補助上限額 1,000万円 (補助率1/3)

※福祉避難所指定(見込み)の有無により補助上限額・補助率を変動

●入浴施設の新設(客室内含む)

<事業例> 客室に和風浴室を新設

- ◎ 補助上限額 500万円 (補助率1/6)



●客室のリノベーション(客室全室又は10室以上)

<事業例> 藍の装飾をはじめ徳島ならではのリノベーション

- ◎ 補助上限額 300万円 (補助率1/6)

県の制度融資

観光施設等整備資金貸付金

【観光施設整備資金】<R2.4.1 制度改正>

●事業費の70%以内で最高2億円以内

融資利率 現行2.25%以内を引き下げ ⇒ 1.95%以内

県内宿泊施設の新増設によるキャパシティ拡大支援

(新) 宿泊施設投資促進事業補助金

制度創設

インバウンド対応大型宿泊施設

客室数100室以上又は収容人数300人以上

平均客室面積 20㎡以上

外客接客主任者1名選任

ツイン客室中心のホテル等の整備

●補助上限額 5億円 (投下固定資産額10%以内)

<補助要件>

- ・投資固定資産額総額 20億円以上
- ・新規地元雇用 5人以上

滞在型リゾート宿泊施設

客室数30室以上かつ収容人数100人以上
40㎡以上の豪華客室を有すること

豪華客室を有する滞在型ホテル等の整備

●補助上限額 2億円 (投下固定資産額5%以内)

<補助要件>

- ・投資固定資産額総額 5億円以上
- ・新規地元雇用 5人以上

債務負担行為限度額 5億円

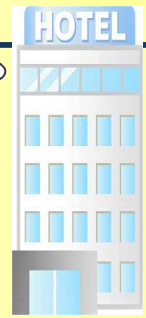
県内金融機関からの資金調達

(新) 宿泊施設民間融資活用資金利子補給補助金

【県内金融機関からの資金調達に対する利子補給】

●補助上限額 長期プライムレート相当額

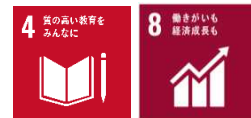
<補助内容> 利子補給期間 最大3年
資金調達額 最高20億円以内



宿泊者数・観光消費額の増加により、地域経済を活性化

担当：観光政策課

新 とくしま観光人づくり事業



【令和2年度当初予算額 4,500千円】

背景

- ① 「観光産業」は今後の成長産業の柱として大きな期待
- ② 観光業界における深刻な人材不足
- ③ 「WMG2021関西」「四国DC」「2025年大阪・関西万博」を見据えた誘客促進
- ④ 徳島県観光振興基本計画(第3期)において「観光人材の育成・強化」を基本施策に位置づけ

「産業の視点」から観光を学ぶ
“人材育成の拠点づくり”

「とくしま観光アカデミー（仮称）」設立

観光現場の課題・ニーズを踏まえた
講座の企画・実施

在職者から高校・大学生、
シニアまで幅広い世代を対象

人材の「育成」と「活用」の
一体的な運用

人材育成
人材活用

■自主講座

観光経営の視点を組み込んだ、
実務的でタイムリーな講座の実施
〔例〕観光危機管理セミナー(2h/回)

■大学との連携講座

在職者や高校・大学生を対象に、専門的知識や
スキルを体系的に習得
〔例〕観光地域マネジメントコース(15回×2h/回)

■関連講座の情報発信

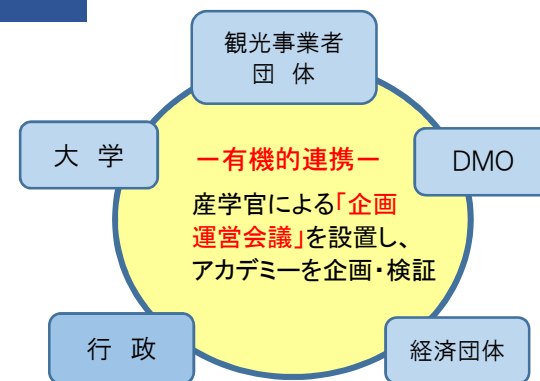
DMOやシルバー大学校など関連団体が実施する「観光関連講座」を集約し、HPやガイドブック
を通じて一元的に情報提供

■観光ガイドバンク(仮称)

講座受講者など観光ガイド情報を集約し、観光事業者・旅行者へ情報提供

■受講生や修了生、講師らとのネットワークづくり、人脈形成の場の提供

“リカレント教育の機会創出”
“将来的な人材掘り起こし”



フィールドワークや
現場体験も!



徳島の観光産業を牽引する観光人材の育成・強化

「地方創生の切り札」として観光産業を主要産業へ進化

担当：観光政策課

新 新たな「海上交通」実証運航事業



【令和2年度当初予算額 16,000千円】

本県を取り巻く環境の変化

- 3大国際スポーツ大会 3年連続開催
 - '19 ラグビーW杯
 - '20 東京オリンピック・パラリンピック
 - '21 ワールドマスターズゲームズ2021関西
- '21 四国デスティネーションキャンペーン開催
- 2025大阪・関西万博 185日間に渡り開催

関西国際空港を中心に、
大幅なインバウンドの増加が見込まれる

万博で期待される効果
・2800万人来場
・経済効果2兆円

取り組むべき方向性

- 「関西国際空港」や「夢洲」への
来訪者の直接本県への取り込み
- ↓ 対応策 ↓
- 様々なニーズに応じた多様な交通手段の確保

スケジュール

交流人口の拡大に向け新たな「海上交通」導入へ

R元(2019)
【ラグビーWC】
導入検討

R2(2020)
【東京オリ・パラ】
【WMG2021関西・四国DC】
実証運航・効果検証

実装

R7(2025)
【大阪・関西万博】 …
検証結果を踏まえ本格運航へ

事業内容

○「海上交通」実証運航の実施

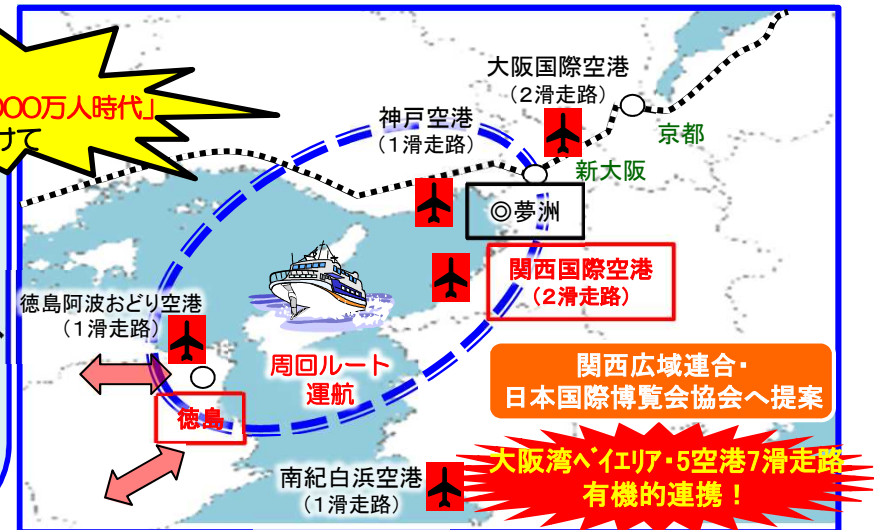
- ・イベント開催期間等に合わせ周回ルート運航
- ・本県と「関西国際空港」をはじめとする「大阪湾ベイエリア」を臨む空港等との接続
- ・大鳴門橋,渦潮等を楽しむ「プチクルーズ」要素を付加し、ファムツアー等を実施

R1導入検討結果
を踏まえ運航！



※写真はイメージ

2030年
「訪日外国人6000万人時代」
に向けて



インバウンド受入態勢の強化へ！ 夢と希望の新交通ネットワークの構築

担当：運輸政策課

全国・世界へ！ 徳島の魅力発信戦略

【令和2年度当初予算額 20,500千円】

2019年 訪日外国人観光客 3,188万人、国において2030年 6,000万人を目標			⇒ 訪日外国人の増加 →東京、大阪を中心に国内外から「人」「モノ」「情報」が集積
2020年 東京オリンピック・パラリンピック	2021年 ワールドマスターズゲームズ 2021関西	2025年 大阪・関西万博	

徳島ならではの文化・食材など魅力を発信する絶好のチャンス！！

首都圏での取組み

① "つながる首都圏阿波おどり"情報発信事業【6,000千円】

- 首都圏で知名度の高い「阿波おどり」を核としたイベントを開催
 - ・ 徳島や首都圏で開催する阿波おどり大会関係者と連携し、「阿波おどり」の共演、体験会、首都圏サミットなどを実施
 - ・ 本場徳島の阿波おどりはじめ、徳島の「観光」「食」の魅力を阿波おどり関係者や阿波おどりファンに強烈にアピール！
 - ・ 次代を担う子ども(ファミリー)の参加により、「阿波おどり」を通じた徳島の魅力を未来へ発信！

② 首都圏から世界へ！とくしま魅力拡散事業【2,100千円】

- インバウンド客を対象に阿波おどり体験イベントを開催
- 首都圏在住者を対象に「阿波おどり講座」を開催



R1.11 まるごと徳島体験フェス



インバウンド体験イベント

徳島ファンづくりを加速

- ◆ 首都圏で開催される阿波おどり大会関係者間の横の繋がりを構築し、情報発信の基盤を強化！
- ◆ 首都圏における「阿波おどり」の更なる普及拡大を促進し、徳島の魅力を国内外に発信！

阿波おどりを核として首都圏から徳島への人の流れをつくる！

関西圏での取組み

① 徳島やりませ！in 関西事業【12,400千円】

- 大阪・関西万博等大型プロジェクトを活かした徳島の魅力PR
 - ・ 関西の経済団体等と連携し、ビジネスチャンス情報交換会を開催
 - インバウンドをターゲット！"次は徳島へ"を発信
 - ・ ホテルと連携した徳島体験フェアや人気スポットでのPR
 - ・ ホテルコンシェルジュ等のアドバイザーに対するセミナー
 - 若者による「徳島ファンづくり@関西PT」を進化
 - ・ PTメンバーの拡充(徳島に関心を持つ人)
 - ・ PTが主役の"若者発！ファンづくりイベント"を開催
- 若者の"映え"目線で阿波おどり、藍染め、阿波ふうどを演出
県人会と大学生との連携強化による阿波人形浄瑠璃のPR



R2.1 ぎゅぎゅっと徳島体験フェス

徳島ファンづくりを加速

- ◆ PT発！Instagramに加え、YouTube, Tik Tokで徳島の魅力を発信！
- ◆ 阿波おどりワークショップを公園や広場で開催し幅広い世代にPR！

関西(2025年)のエポックメイクを活かした「徳島ファン」の裾野拡大！

体感・実感

拠点の「強み」を活かし、国内外へ徳島ブランドを強力に発信！！

担当：東京本部、関西本部

インバウンドで飛躍「桃源郷にし阿波」魅力強化事業



【令和2年度当初予算額35,000千円】

目標

にし阿波が観光産業で潤う
「住んでよし訪れてよし」の
観光地域づくりの実現

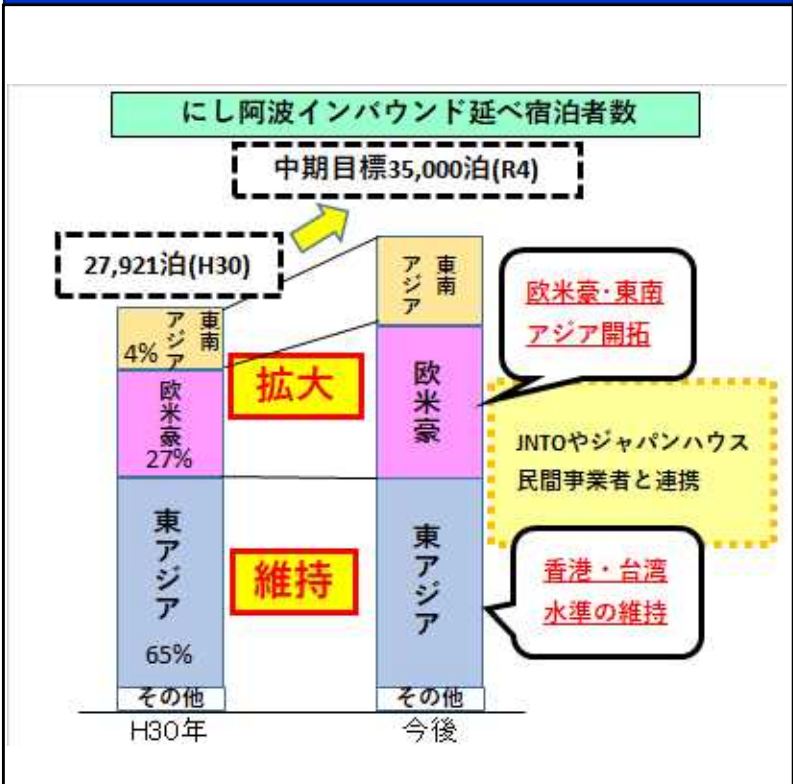
手法

- さらなるインバウンド誘客へのチャレンジ
- にし阿波の強み『トリプル認定』を活かす
～観光圏・食と農の景勝地・世界農業遺産～
- 地域参画型の観光地域づくりの促進


指標

- インバウンドの継続的な増加
- 観光客と地域住民との活発な交流
- 旅行消費額増加→地域の満足度向上


1. インバウンドプロモーションの強化




2. インバウンド観光資源と業(わざ)の承継による持続可能な観光地域づくり

- ナショナルジオライター等 業界著名人活用プロモーション
 - 「にし阿波の匠」のおもてなしの業(わざ)のデジタルアーカイブ化
- 

3. 地域×観光客×ICT = '誰でも'参画型観光の実践

- にし阿波×AWARD (にしアワード) キャンペーン (Instagram)
 - 地域住民オススメ情報の集約・デジタル化・多言語化
～旅ナカルート検索アプリ活用
- 

4. トリプル認定の強みを活かした教育旅行のブランド化

- 国内有名校向け 学びのフィールド提供・修了認定証発行
 - 訪日インバウンド向け コーディネーターが受入支援
- 

5. インバウンド受入環境整備の促進

- 観光宿泊施設BCM(事業継続マネジメント)体制構築と訓練実施
 - 主要駅付近の多言語案内標識の整備
- 剣山/Mt. Tsurugi/劍山/劍山/쯔루기산

世界に通用する観光地域「桃源郷にし阿波」の実現

担当: 観光振興部、県土整備部

背景

- 「人口減少」、「災害列島」という「**2つの国難**」に直面
- 「Society5.0の実現」など「**未知の世界**」とも言える新たな政策課題が山積
- 社会経済情勢の変化が早く、「**県民ニーズ**」も多様化・広範囲化

これまで以上に、

- 県民目線・現場主義**に立った政策立案
- 時機を捉えたスピーディな意思決定と施策展開**が求められる。

全部局に「部局長裁量枠」を創設！

@5,000千円/部局×14部局
知事部局・教育委員会・警察本部

- 現場に近い各部局において、県民の声、ニーズを踏まえた**機動的かつ即効性の高い施策を展開**
- 政策決定のスピードアップにより、「**県民サービスの向上**」と「**働き方改革**」を両立

対象事業

- 「国難打破」、「SDGsの実装」に向け、「**未知の世界**」に挑戦する**先駆的・戦略的な取り組み**
- 「県民目線・現場主義」に基づく、「**柔軟かつ迅速な対応**」が求められる**取り組み**
- 「固定観念」にとらわれない、「**大胆な発想**」による**取り組み**
- 「若手タスクフォース」からの提案をはじめ、「**若者の意見**」を具現化する**取り組み**
- その他各部局長が特に必要と認めた**取り組み**



旧果樹研究所
(人材育成・にぎわい交流拠点へ)



役割を終えた「出合橋」
(新たな観光スポットへ)

<リタイアインフラ有効活用>

執行方法

- 年度途中の新たな課題に対し、各部局で**タイムリーに対応策を企画立案** → **枠予算を活用して速やかに実行**
- 事業の実施状況は随時公表し、**予算執行を透明化**

担当：財政課

新 新3K・建設産業「働き方改革」推進事業



【令和2年度当初予算額 10,000千円】

生産性向上

i-Constructionの推進

- ICT施工の拡大 県内企業へ更なる浸透
 - ➔ ICT活用工事の拡充
 - ➔ 新たな工種に展開 新技術の発掘！作業工数の大幅低減
- ICT施工の普及 平成長久館との連携
- 新 ➔ ICT活用伝道トップセミナー
 - ・ ICT施工のトップランナー企業に学ぶ
- ➔ 3次元CADデータ作成等講習会 ➔ 拡充
 - ・ 3次元測量や3次元設計データの作成等を学ぶ
- ➔ ICT活用工事現場講習会 ➔ 拡充
 - ・ ICT施工の現場において、実地で活用手法を学ぶ



ICT活用工事



5Gを見据えたIoT活用による効率化

- 新 ➔ IoT技術導入スマート管理モデル事業
 - ・ スマートデバイスを活用したWeb立会
 - ・ 情報共有システム(ASP)の活用による利便性の向上
- ★クラウド
- 受注者
- 発注者
- ASP
- Web立会

人材教育

- 担い手対策 持続に向けての支援
- 新 ➔ 交通誘導警備員安全教育講習会
 - ・ 交通誘導警備員が配置困難な場合に、建設業者の従業員で補完するための講習会
- 新 ➔ 建設業事業承継支援事業
 - ・ 徳島県事業引継ぎ支援センターと連携し、マッチング等を支援
- リカレント教育で能力伸長 個々の能力を高め生産性向上
 - ➔ 技能向上・資格取得に向けた講習会等の開催



やりがい発信

- 新3Kへと変わる現場を広くPR イメージアップ
- 新 ➔ 建設フェア四国in2020徳島や防災フェスタ
 - ・ 来場者に向け、最新の建設技術の紹介や建設産業が社会で果たす役割を周知
- 将来の担い手へ向け魅力発信
 - ➔ 出前講座
 - ・ 小学校において、建設産業の紹介や現場で活用するドローンの実演等を行い、建設の仕事への理解を深める
 - ➔ 現場見学会や作業体験
 - ・ 高校生を対象に建設現場を体感するバスツアーを開催
 - ➔ 建設女子カフェ
 - ・ 働くイメージがふくらむ女子学生と女性技術者との交流



カッコイイ、快適な、希望の持てる「新3K・建設産業」へ！

担当：建設管理課

会計年度任用職員制度の導入

【令和2年度当初予算額 4,448,283千円】

－臨時的任用職員－

- 任用根拠 地公法第22条第2項 (一般職)
- 任期 6月以内で1回更新可能、再度更新不可
- 勤務時間 常勤職員に同じ
- 給付 <本俸>
条例に基づき予算の範囲内で賃金を支給
<期末手当>
予算の範囲内で支給(1月分)
<退職手当>
支給不可

地方公務員法
地方自治法
改正
<R2.4.1施行>

大半の
「臨時的
任用職員」・
「非常勤
特別職」は
「会計年度
任用職員」
に移行

－非常勤特別職－

- 任用根拠 地公法第3条第3項第3号 (特別職)
- 任期 原則1年以内、再度任用可能
- 勤務時間 常勤職員の3/4以内
- 給付 <本俸>
条例に基づき報酬を支給
<期末手当>
支給不可
<退職手当>
支給不可

－臨時的任用職員－

常勤職員に欠員を生じた場合に任用を厳格化(改正地公法第22条の3)

－会計年度任用職員－

- 改正地公法第22条の2に定める **非常勤の一般職**として設置
- フルタイムとパートタイムのいずれの職も設置可能
- 常勤職員に準じた **期末手当の支給**
- 常勤職員に準じた休暇制度の導入

適切な勤務条件を確保し、
業務に精励できる環境を整備！

【令和2年度当初予算額】

知事部局	1,522,306千円
教育委員会	893,500千円
公安委員会	476,042千円
一般会計計	2,891,848千円
企業局	77,701千円
病院局	1,478,734千円
企業会計計	1,556,435千円

制度改正
影響額
+96(百万円)

制度改正
影響額
+66(百万円)

総計 4,448,283千円

本県の政策提言や知事会要望で
必要財源の地財措置が実現！

－フルタイム－

- 勤務時間 常勤職員に同じ
- 給付 <本俸>
常勤職員と同じ給料表を適用し、給料を支給
<期末手当>
常勤職員に同じ(2.6月分)
<退職手当>
常勤職員に準じて支給

－パートタイム－

- 勤務時間 常勤職員の3/4以内
- 給付 <本俸>
フルタイムの額を基本に勤務時間に応じた報酬を支給
<期末手当>
常勤職員に同じ(2.6月分)
<退職手当>
支給不可

－非常勤特別職－

専門的な知識経験等に基づき、助言、調査等を行う者に任用を厳格化(改正地公法第3条第3項第3号)

組織執行体制の強化による県民サービスの向上を実現

新 Society5.0実装化エリア創出事業



【令和2年度当初予算額 41,800千円】



徳島県における"Society5.0実現"



2つの国難打破!

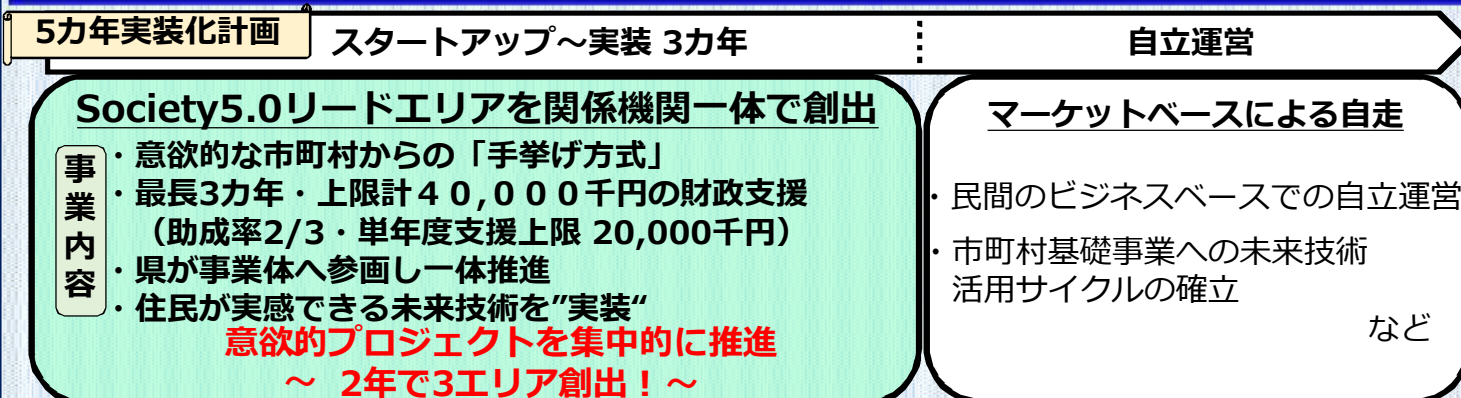
人口減少 地域活力の減退

人手不足

災害列島

南海トラフ巨大地震 頻発化・激甚化する自然災害

未知の世界を切り拓く! Society5.0実装化エリアの創出



Society 5.0

資料提供: 内閣府

Society5.0スタディの開催

- ・市町村・関係機関と先進事例の適用研究
- ・未来技術研究・実証・組織化の検討

課題解決シーズの発掘・芽出し

我が国をリード! Society5.0実装モデルの集積・構築

担当: 地方創生推進課

新 みんなが主役！「徳島版SDGs」全県展開事業



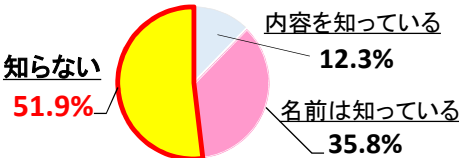
【令和2年度当初予算額 6,000千円】

背景・課題

2015年国連総会「SDGs」採択
SDGsの取組みは”時代の要請”
一方…
新総合計画「徳島版SDGs実装」へ！

＜SDGs認知度＞
全体の”5割超”
「知らない」

2019年 県民意識調査 (eモニター)



＜SDGs普及対策＞

情報発信の充実(61.1%)

県民からの回答で最多！

事業の概要

▶ SDGsの全県普及・浸透

◎民間団体等と連携し、県内3圏域で
SDGs啓発イベントや勉強会等を開催



県民の皆さんの
「SDGsって何？」
を解消！

▶ 徳島版SDGs実践例の発信

◎官民間問わず、様々な主体による
徳島ならではの”SDGs実践例PR動画”の制作



▶ 進化形！「新未来セッションNEO」の開催

◎”若者が徳島の未来を考える”機会に！

- ・ 県内3圏域で、地域で活躍する方を交え、地元高校生等との対話集会を開催
- ・ SDGsの視点をトークテーマに取り入れ



新未来セッションNEO

▶ SDGsにフォーカスした施策展開

◎県の重点施策、イベントなどを中心に

- ・ 関連する「SDGsアイコン」を明示し、積極アピール
- ・ PR版冊子での発信充実 (QRコード+動画)



◆ SDGsの理念・意義を共有

◆ 県民・事業者の意識・行動を変革

◆ 若者の意見・SDGs視点の施策展開

県民総ぐるみで「徳島版SDGs」の実装加速へ！！

担当：総合政策課

次世代地域公共交通ビジョン実装事業



【令和2年度当初予算額 316,183千円】

課題

1 公共交通の縮小均衡

- ・利用者や運転手の減少
- ・路線の廃止減便の拡大

2 顕在化する新たな“需要”

- ・インバウンドの二次交通
- ・免許返納後の移動手段

3 包括的な調整機能の不足

- ・鉄道とバスの平行運行
- ・運行主体の多様化

地域公共交通最適化の羅針盤となる
「次世代地域公共交通ビジョン」を策定 (R1.12)

ビジョンに掲げる6つの処方箋を具現化

1 公共交通の最適化

(1) モーダルミックスの推進

【302,245千円】

持続可能な地域公共交通ネットワーク構築のため、**地域間幹線系統バス**や中山間地域の**コミュニティバス**、**デマンドバス**の運行及び車両更新等を支援。



(2) 新たな運行形態の導入

【2,500千円】

地域の交通手段の維持・充実を図るため、駅又は地域間幹線系統バス等に接続する、地域の実情に応じた、**新規系統**や**既存系統の見直し**のために実施する実証運行等に係る取組を支援。



2 利便性の向上

(3) つなぐ仕組みの構築

【1,500千円】

路線バスのオープンデータ化
マニュアルを作成し、地図検索サイトでの鉄道とバスの乗り継ぎ案内の充実に向けた支援を行うこと等により、地域公共交通ネットワークの利便性向上を図る。



(4) 交通結節点の環境整備

【2,500千円】

駅やバス停、病院といった地域の拠点となる交通結節点における、待合所やトイレ、駐車場・駐輪場、**多言語案内表記**等の利用環境の整備を行う公共交通事業者、市町村を支援。



3 利用促進

(5) 新たな需要の創出

【4,200千円】

訪日外国人旅行者をはじめ、観光客の二次交通の需要を地域公共交通へ取り込むため、**企画切符の発行**や地域公共交通の魅力向上、利用拡大に向けた取組を支援。



(6) 地域で支える意識の醸成

【3,238千円】

県民の**マイレール**、**マイバス意識を醸成**し、地域公共交通に愛着を持ってもらうとともに、地域公共交通の現状を認知してもらうことで、県民自らが地域公共交通を支える意識を醸成。



県を挙げた連携で「未来へつなぐ」地域公共交通ネットワークを創生

Society5.0先導！サテライトオフィス全県実装事業



【令和2年度当初予算額 26,000千円】

新 地域イノベーション集積拠点創出事業

【11,000千円】

地域イノベーション集積拠点創出事業補助金

商工労働観光部「**新**徳島県イノベーション創出推進事業」と連携



全国トップ (H30) の
サテライトオフィス集積
(64社)
をさらに加速！



地域イノベーション人材の
集積・コラボを推進！

地元研究者・技術者

企業

NPO

金融機関

県・市町村

新しい拠点の創出 ～さらなる飛躍へ～

ハード・ソフトの双方の
取組みを一体実施！

2市町村
程度を支援

1地域
500万円

地域イノベーション人材
マッチング企画の実施

コワーキングスペース・
サテライトオフィスの整備

プロモーションの実施
新たなツール開発



人材の集積



研究開発
新ビジネス創出



地域への
成果還元

とくしまコワーキングコミュニティプラットフォームの運営

R1.8 とくしまコワーキングコミュニティプラットフォーム発足
(県・市町村・企業・大学等・NPO) 23会員(12市町村)が加入

～集積した人材と地域人材をつなぐ！～



イノベーション人材の
集積推進組織
「全県ヘッドクォーター」
としての機能を発揮！



サテライトオフィス誘致促進事業(各圏域へのコンシェルジュ配置等)

【15,000千円】

地域へのイノベーション人材の集積により、地域課題の解決を推進

担当: 地方創生推進課

「ONE・TEAM徳島！」移住・交流推進プロジェクト



【令和2年度当初予算額 105,900千円】

新 広がれ！「とくしま暮らし」推進プロジェクト(65,000千円)

情報発信



新 LINEで若者と繋がれ！
ともだち登録で就職・イベント情報やお得なプレゼントなど魅力的なコンテンツを発信



新「巨大ビジョン」「有名ラジオ番組」「全国女性誌」を活用！
関西を中心に強力情報発信



新「とくしま若者帰郷アンバサダー」優秀者を「黄金(ゴールド)アンバサダー」認定！
活動のさらなる活性化



■とくしま帰郷セミナー・ツアーの展開
「TOUCHとくしま(高校生向けツアー)」を3圏域に拡大！

移住相談



新「仕事に関する専門相談員」
ジョブアシスタントを新設！
移住相談を充実



新 大阪→徳島 無料バスを運行！
関西の皆様、徳島駅前移住相談
+徳島体験にいらっしゃ〜い！

新 関西発！「Road to 徳島」事業
日常的な移住相談体制を強化し、
伴走型フォローアップを実施！
「県人会・ふるさと会」と連携し、
「空き家提供・活用」相談体制を構築
関西本部 (2,000千円)

新総合戦略を強力に推進！

大阪圏

若者

女性

魅力体験



新 関西在住の女性がターゲット！
・若者向け魅力体感ツアー
・子育てしやすい環境体験ツアー

新たな地域づくりの担い手！「徳島ファン」創出加速化事業(7,400千円)



新 「ターンテーブル」で「関わりしるの深化」
を目的としたビジネス交流会等を継続的に開催
「交流拠点」としての機能創出

■ファン掘り起こしイベント・体験型見学会・
マッチングドラフトを通じた徳島ファンの
さらなる創出・拡充

わくWORK徳島！新しいふるさと発見事業 (5,000千円)

■都市部の若者が徳島で短期間就労
将来的な移住者を掘り起こし



徳島わくわく移住支援事業 (26,500千円)

■首都圏からの移住者に引越代等を支援

要件
緩和



ターゲットを絞った戦略的な移住推進と徳島ファン創出の展開

担当：地方創生推進課、関西本部

「あわ文化」の創造発信と未来へのレガシー継承

【令和2年度当初予算額 140,779千円】

2019.7
策定

徳島県文化芸術推進基本計画

「あわ文化」のさらなる発展に向けた
5つの目標

- みんなで築く「あわ文化」
- 根付き、育てる「人材・才能」
- 文化の力で「まちづくり」
- 文化と経済の「好循環」
- 「あわ文化」ブランドの創出



2019年
ラグビーWC

2020年
東京オリ・パラ

2021年
WMG関西

2025年
大阪関西万博

- 「3大国際スポーツ大会」の開催、さらに大阪関西万博を絶好の機会と捉え「あわ文化」の魅力を国内外に強力に発信
- 文化団体・商工団体・教育機関等との連携により地域の魅力向上を図り、「インバウンド」の拡大をはじめとして「地方創生」を実現
- 新技術フル活用! 「eスポーツの聖地・徳島」への取組みのさらなる加速

あわ文化魅力向上事業 (90,779千円)

◇「あわ三大音楽」魅力発信事業

- ・映像と融合した特別プログラム!
「とくしま夏の音楽祭」を展開
- ・さらなるレベルアップや交流!
「オーケストラキャンプ」の充実
- ・県内各地で親子向け
「はぐくみコンサート」を開催

東京オリ・パラと連携



◇県民文化祭開催事業

- ・分野別文化団体と連携し、
様々な「あわ文化」を満喫できる
総合舞台を制作



◇「eスポーツ」未来創造事業

- ・にぎわい創出! 全国から上級者が集う
「eスポーツ」大会を開催
- ・未来創造! 5Gはじめ新技術との
コラボ実現
- ・競技力向上! 鹿児島国体へ選手派遣
- ・裾野拡大! 県内各地における
「eスポーツ」の開催支援

知事杯
レベルアップ



茨城国体
ベスト8

「東京オリ・パラ徳島未来創造基金」活用

あわ文化創造事業 (50,000千円)

新 とくしま藍文化創造発信事業

- ・国内外のアーティストや
藍染作家と連携した
「阿波藍」の国際アート展を開催



新 地域連携音楽活性化事業

- ・地域のニーズに沿った
「ジャズ」コンサート等
地域主導の音楽イベントを開催

文化と経済の好循環!



新 あわ文化連携展開事業

- ・海外での「阿波藍」アート
展示の協力
- ・「人形座」の国内外派遣
- ・「とくしま文化プログラム」
として「あわ文化」の魅力を
県民とともに発信

inスミニアン博物館



東京オリ・パラの好機に
阿波藍の魅力を強力に発信!

◇あわ文化創造支援費補助金

- ・ホストタウン対象国との文化交流や
レガシー継承に向けた次世代育成
- ・障がい者芸術に光を当てた
新たな才能の発掘
など県民の文化活動を支援



◇あわ文化可能性創造事業

- ・アドバイザー派遣により文化団体等の可能性を創出

◇あわ文化巡回展実施事業

- ・組立て式の移動ギャラリーで県内を巡回展示

「未知なる」世界へ! 「道成る」あわ文化の実現

新文化の森総合公園 開園30周年記念事業



文化レガシーの創出

【令和2年度当初予算額 112,450千円】

文化芸術を活用した交流人口の拡大

- 新** **アートによる文化プログラム促進事業**【33,500千円】
 - ドイツ・ニーダーザクセン州友好展覧会(2020.10~12)
 - ・モダンアート、現代美術、ドイツゆかりの日本人作家作品
 - ・シュプレングル美術館との鑑賞教育プログラム、シンポジウムを通じた交流
 - 野外彫刻展(2020.10下旬~11月上旬)
 - ・文化の森野外彫刻展運営委員会(仮称)
 - ・大学、高等学校等の学生・生徒とのワークショップ、成果発表



シュプレングル美術館



クレー「子どもと伯母」

世界に誇る「あわ文化」の発信

- 新** **鳥居龍蔵生誕150周年記念事業**【3,500千円】
 - 国際フォーラム「鳥居龍蔵の世界を問う」(2021.3)
 - 全国高校生歴史文化フォーラム(2021.3)
- 新** **図書館タイムマシン「現在・過去・未来」事業**【2,000千円】
 - 図書館メディアの現在と過去の比較展示
 - デジタルアーカイブ、レコード、16mmフィルムの鑑賞とこれからの図書館を想像(創造)する講演



歴史文化フォーラム



旧館(レコード室)

学習拠点機能の進化

- ◆文化の森デジタルアーカイブ構築事業【26,500千円】
 - インターネット及び文化の森内閲覧システムでのコンテンツ提供
 - 子どもデジタルアーキビスト養成講習・デジタルアーカイブ講演
- ◆県立図書館「知の拠点」事業【45,500千円】
 - 図書館資料の充実(子ども向け書籍)
 - 電子書籍閲覧サービスの充実
- ◆徳島自然災害歴史資料集編さん事業【1,450千円】
 - 自然災害資料のデジタル化・特別企画展



デジタルコンテンツ例「祖谷山絵巻」



埴輪の3D撮影



更なる「観光振興」・「地方創生の実現」へ！

担当:文化の森振興本部

国際スポーツ大会「レガシー」の創出！継承！

【令和2年度当初予算額 451,000千円】

① 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ受入事業 (235,000千円) **いよいよ開催！**



各国代表の事前キャンプを実施！

- キャンプ受入態勢整備
 - 県民との交流
 - 機運醸成イベント など
- | | | | |
|---|-------------------------------------|---|--|
|  | ドイツ(2016年ホストタウン登録)
柔道・カヌー・ハンドボール |  | ネパール(2019年ホストタウン登録)
水泳・アーチェリー |
|  | カンボジア(2017年ホストタウン登録)
水泳 |  | ジョージア(2019年ホストタウン登録)
射撃・車いすフェンシング・柔道・陸上・パワーリフティング |

② ワールドマスターズゲームズ2021関西開催準備加速化事業 (165,000千円) **開催前年！**

来県者へのおもてなしを充実！

- 交流拠点の整備
- ボランティアの研修
- 交流イベントの募集 など



競技運営態勢を整備！

- テストイベントの実施
- カヌーコースの設営
- 競技用具の整備 など



令和2年度	令和3年度
オープン競技開始！ 軟式野球・マラソン	公式競技開始！ ウエイトリフティング・ ボウリング・ゴルフ等
12競技種目開催・1万人超が来県！	

③ とくしまスポーツレガシー実装事業 (51,000千円) **さらなる展開！**

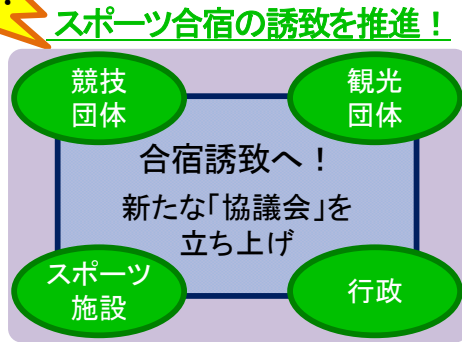
ラグビーW杯レガシーの実装！

- ラグビーの合宿・大会誘致
- ジョージア国との交流



オリ・パラレガシーの実装！

- ホストタウン対象国との交流



- ・ 競技力向上
- ・ 国際交流促進
- ・ 地域活性化

競技力ジャンプアッププロジェクト



【令和2年度当初予算額 270,889千円】

現状

茨城国体 **+170点**
614点 **必要!**

目標

天皇杯
30位台

課題

戦略的にステップアップを図り、総合力で勝利を呼び込む!

■ **団体競技の強化**

大量得点を積上げ!

■ **選手・指導者の確保**

優秀な人材を徳島に戻す!

■ **競技環境の整備**

本大会を想定した環境づくり!

■ **お家芸の復活**

安定した得点源を確保!

■ **サポート力の強化**

ここ一番での勝負に競り勝つ!

新競技力抜本的強化枠 (+90,000千円)

「令和4年度四国インターハイ」開催の機会を捉え、
抜本的対策を戦略的かつ重点的に展開!

3か年枠
総額3億!

オリンピック選手輩出・国体飛躍プロジェクト
(238,533千円)

ハード・ソフト両面から3か年で重点強化

ハード面(+40,000千円)

- 本大会を想定した競技環境整備
- 有望競技の備品更新促進

上位に食い込む
ための環境づくり



射撃競技で使用される電子標的

ソフト面(+50,000千円)

- 強化遠征や大会開催に対する支援充実
- 実績のある企業・大学との連携強化

団体競技、
お家芸の強化

- 県内企業とのマッチング支援
- スポーツコーディネーター等の雇用拡大
- 「ジュニア世代」の人材発掘
- 本県ゆかりの「ふるさと選手」活用促進

優秀な選手、
指導者確保

- サポートメンバー等の大会派遣強化
- 医科学サポート体制の充実

接戦を勝ち抜く
体制構築



■ **団体競技への強化遠征費等支援の拡充**
(83,838千円)

■ **企業・大学や有望選手への支援拡充
県内企業とのマッチング支援**
(15,400千円)

■ **スポーツコーディネーター等による支援**
(50,102千円)

■ **本大会を想定した競技備品の整備**
(45,927千円)

■ **県立スポーツ施設の環境整備** (43,266千円)

NEO徳島トップスポーツ校強化事業【教委】
■ **団体競技の強化** (+4,000千円)

あわスポーツ・医科学強化プロジェクト (8,247千円)

- 先端の医科学情報やサポートの提供、女性アスリート・指導者育成

徳島育ち競技力向上プロジェクト (19,109千円)

- ジュニア期からの一貫した競技者育成に関する活動を支援

目指せ!オリンピック夢はぐくみ事業 (1,000千円)

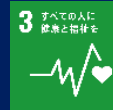
- オリンピアン等によるジュニア選手への直接指導



オール徳島での抜本的強化策により「国体天皇杯30位台」を実現



令和4年度全国高校総体の推進と競技力向上関連事業



【令和2年度当初予算額 309,384千円】

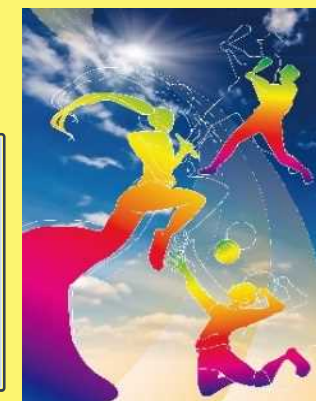
新 令和4年度全国高等学校総合体育大会推進事業 【17,000千円】



躍動の青い力 四国総体2022

燃え上がれ我らの闘志 四国の大地へ

全国の高校生アスリートが集う
スポーツの祭典
「全国高等学校総合体育大会」
開催期間：令和4年7月～8月
参加者：四国4県に約37,000人



総合開会式及び陸上競技、バレーボール（女子）、サッカー、バドミントン、弓道、ホッケーの6競技を、本県において開催するための準備を行う



本県選手の大会上位入賞に向けた強化策

◇NEO徳島トップスポーツ校強化事業 【20,000千円】

- ・高校部活動の強化校を指定し、トップアスリートを集中強化
- ・令和4年に向けて団体種目の競技力向上を目指す

◇県立学校スポーツ施設レガシー創出事業 【272,384千円】

四国総体2022及び今後の競技力向上に向けて、県立学校スポーツ施設を整備・改修

- ・阿南光高校（ホッケー場改修・多目的球技場整備）
- ・徳島科学技術高校（アーチェリー場安全対策強化）

担当：体育学校安全課、施設整備課

文化・スポーツ魅力創造事業 ～ Second Stage ～



【令和2年度当初予算額 29,000千円】

～ First Stage ～

～観光による経済活性化～

- ・海外プロモーション
⇒プロガー 招へい・旅行博 出展
(アメリカ・オーストラリア・香港・台湾等)
- ・DMV運行開始に向けた機運醸成
- ・「四国の右下観光局」日本版DMO登録



～文化・スポーツによるレガシーの創出～

- ・伝統文化・歴史・食に触れる
体験型コンテンツの造成
- ・外国人向けモニターツアーの実施
- ・SO企業と連携したスポーツ大会のブラッシュアップ



さらなるステージへ!

「四国の右下観光局」を核としたスポーツ・ツーリズムの推進

“ツーリストを唸らせる” 四国の右下

- ◆DMV運行開始!!鉄道ファンの誘客促進
 - ・“女子鉄”などインフルエンサーによる魅力発信
 - ・観光周遊プランを造成するFAMツアーの実施
- ◆大型観光キャンペーン「四国DC」を活用した誘客促進
 - ・地域と一体となった観光コンテンツの磨き上げ
 - ・旅行会社に対するプロモーションの強化



“スポーツとの融合!みんなを魅了する” 四国の右下

- ◆スポーツ×「自然・食・文化」によるツーリズム化の促進
 - ・圏域内のスポーツ大会を戦略的に展開する
推進組織の設置
 - ・宿泊・観光施設を巻き込み、
ツーリズムを推進する「アクションプラン」の策定
 - ・スポーツ大会に合わせた
有名選手やメディア招へいによる魅力発信



“インバウンドが満足する” 四国の右下

- ◆WMG2021関西を契機とした“新たな滞在エリア”の創出
 - ・兵庫県・鳥取県と連携した
関空in・outの新たな周遊ルートの造成
【対象国：オーストラリア】
- ◆外国人観光客の受け入れ環境整備
 - ・Wi-Fi・キャッシュレス決済等の普及促進



“アウトドアスポーツのメッカ” 四国の右下

- ◆年間を通した魅力的なスポーツ大会の開催
 - ・「四国の右下」ロードライド第10回記念大会
 - ・第17回マスターズオープンサーフィン選手権大会
- ◆スポーツレガシーの創出
 - ・トップアスリートによるクリニックや
地元小中学生向けスポーツ教室の開催



「ONE TEAM」で持続可能な観光地域づくりを実現!!

新 AYA世代妊孕性サポート事業



【令和2年度当初予算額 3,000千円】

現 状

- 2016年のAYA世代(思春期・若年成人)の新規がん罹患者は全国で2万人以上
- がん治療に伴う生殖機能の低下などで妊孕性(妊娠する力)を喪失する場合がある

課 題

- 妊孕性を温存するための高額な治療費に対する「経済的負担の軽減」
- 患者への正確な「情報提供」と「相談支援」
- 「がん医療」と「生殖医療」の「連携」

経済的支援制度を創設

★ 子どもを持つ希望とともにがん治療

◎ 妊孕性温存治療費を助成

※ がん治療前に行う精子・卵子等の採取・凍結保存治療

概要

対象者	43歳未満
上限額	女性 20万円 男性 3万円
回数	1回



情報提供・相談体制を強化

★ 患者等への情報発信・相談支援

◎ がん診療連携拠点病院等でのチラシ配布や、相談ケア等

★ プレコンセプションケア(将来の妊娠を考えた男女の健康ケア)の普及

◎ 企業等と連携した公開フォーラムの開催



医療連携の促進

★ 医療従事者の理解促進による連携強化

◎ 医療従事者への研修会の実施



がんとの共生

★★★ 尊厳を持って安心して暮らせる社会へ ★★★

担当:健康づくり課

子ども、高齢者、障がい者、みんなが集う「居場所づくり」の推進

～子どもの居場所づくり推進事業・ユニバーサルカフェ整備推進事業～



【令和2年度当初予算額 12,200千円】

1 目的 地域の絆を深め、地域で支え合う環境の充実を図るため、「子どもの居場所」と「ユニバーサルカフェ」が連携し、社会福祉施設等を活用した新しいカタチの地域の「居場所づくり」を推進する。

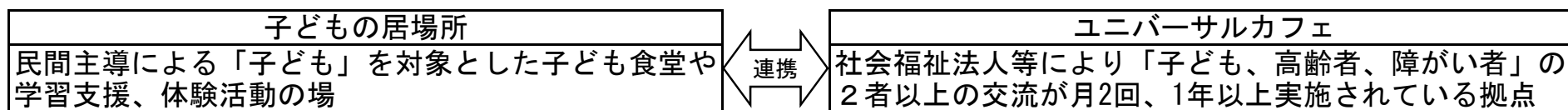
2 事業内容 (1) 子どもの居場所づくり推進事業 11,400千円

持続可能な運営とする仕組みをつくるため、市町村におけるネットワークの構築支援を行う。

- 「子どもの居場所づくり推進コーディネーター」を配置し、広域的な支援バンクを活用した開設支援等を行う。
- 地域ネットワークの構成員や調整役となる人材を育成するための研修を実施する。

(2) ユニバーサルカフェ整備推進事業 800千円

- 子どもから高齢者、障がい者が集う「認定基準」を満たした取り組みに対し、認定証を交付し、広報等の支援を行う。また、認定拠点の人材を派遣し、新たなユニバーサルカフェの設置・運営への支援を行う。



新概念で全県展開！

- ◆ 「ユニバーサルカフェ」を活用し、地域が一体となり子育てを支える「子どもの居場所」を拡大
- ◆ 活動場所の提供など「子どもの居場所」づくりに取り組む社会福祉施設等を認定し「ユニバーサルカフェ」を拡大

3 事業効果

- ・ 地域の既存資源を有効活用した多種多様な交流拠点の創出による地域活力の再生
- ・ 地域の絆が深まり、高齢者の生きがいづくりや子どもたちの見守りなど、地域で支え合う環境の実現

担当：次世代育成・青少年課こども未来応援室、長寿いきがい課いきがい・活躍推進室、障がい福祉課



【令和2年度当初予算額 1,114,314千円】

事業の目的

全ての意思ある高校生等が安心して教育を受けることができるよう、
家庭の教育費の負担の軽減を図るとともに、各学校の魅力を最大限に引き出すための支援を行う



私立高校授業料の実質無償化

高等学校等 就学支援金 152,100千円 (国10/10)

R2から「年収590万円までの世帯」について
支給上限額を、一律年額約40万円へ引き上げ

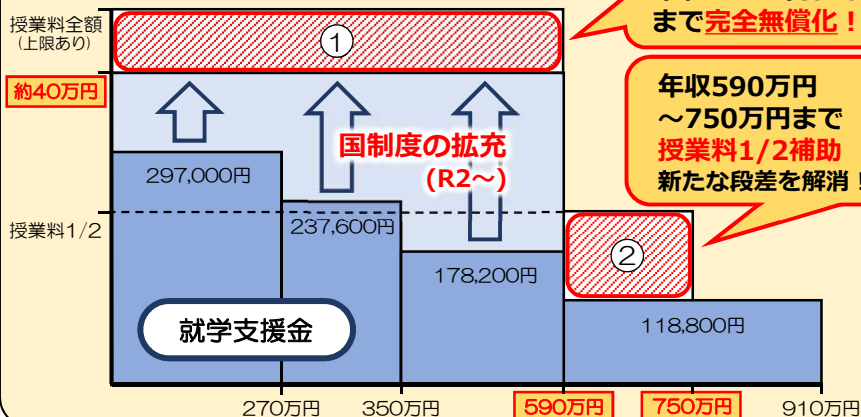
国の制度拡充に伴い新たな上乗せ制度を構築！

新 徳島版！私立高等学校等 就学支援事業 11,790千円

- ① 就学支援金（約40万円）と授業料の差額を上乗せ補助
- ② 支援格差解消のため、対象世帯を拡大



《上乗せのイメージ》



県の上乗せにより
年収590万円世帯
まで完全無償化！

年収590万円
～750万円まで
授業料1/2補助
新たな段差を解消！

高等教育(専門学校)の無償化

新 授業料等減免
事業費補助金 196,462千円 (国1/2)

低所得世帯の専門学校生の
入学金と授業料を減免



入学金：上限16万円
授業料：上限59万円

専門学校生への効果的な
経済的支援の実証研究事業 331千円 (国10/10)

就学支援アドバイザーによるセミナー等

奨学のための給付金 23,700千円 (国1/3)

高校等に通う低所得世帯に対し
授業料以外の教育費を給付

私立小中学校授業料
軽減費補助金 3,000千円 (国10/10)

低所得世帯に最大10万円補助

学校への支援

私立学校運営費補助金等

- (1) 私立学校運営費等補助金
 - ① 運営費補助 667,991千円
 - ② 魅力アップ事業等 25,674千円

「エシカル消費・消費者教育」
の推進に向けた
取組みを
新たに支援！



《生徒等一人当たり単価》

	令和2年度予算 (単価)	対前年度比 増加分(%)
高校	359,398	1.197
中学校	319,490	1.201
小学校	317,102	1.198
幼稚園	202,028	1.198

※ 国単価は1.1%の増加

- (2) 日本私立学校振興
・共済事業団補助金 9,051千円
- (3) 私立学校退職金社団補助金 21,332千円

幼児期から高等教育まで「切れ目」なく、希望する質の高い教育が受けられる社会の実現！

担当：総務課

学校における働き方改革・魅力ある勤務環境の整備



【令和2年度当初予算額 30,480千円】

とくしまの学校における働き方改革プラン

推進のための5つの柱

- ① 勤務時間の管理と意識改革
- ② 業務改善の推進
- ③ 外部人材等の活用
- ④ 部活動の適正化
- ⑤ 保護者・地域への理解促進

スクール・サポート・スタッフ
部活動指導員 の拡充

専門スタッフ及び外部人材の活用により、学校における役割分担を図り、教員が本来担うべき業務に集中できる体制を構築



スクール・サポート・スタッフ配置促進事業

【14,000千円】(国2/9・県4/9・市町村3/9)

スクール・サポート・スタッフの役割

- ・ 授業準備の補助(指導資料の印刷等)
- ・ 教員が行う事務の支援(データ入力業務等)
- ・ 教育活動に係る事務補助(学校行事の準備等)等

教員の負担軽減につながる業務



データ入力



プリント印刷

R元年度配置数 18名

「時間外勤務を一日当たり30分縮減することができた」

学校現場・市町村の声

「教材研究や児童生徒の相談に乗る時間が確保できた」

「教員の勤務負担軽減に非常に効果的なので配置校を増やしたい」

R2年度配置数 40名

実施主体を市町村(負担1/3)とした補助事業に移行

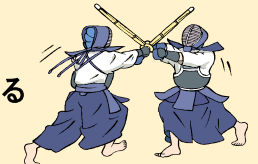
- 全県的に配置を拡充
- 学校の実情に即した地域人財を活用

部活動指導員配置促進事業

【16,480千円】(国・県・市町村1/3)

部活動指導員の役割

- ・ 実技指導
- ・ 安全・スポーツ障害予防に関する知識・技能の指導
- ・ 学校外での活動の単独引率



R元年度配置数 22名

学校現場の声

- 「専門外競技の顧問による精神的負担が軽くなった」
- 「研修等で多忙な中で時間にゆとりができた」
- 「専門的な指導が自分の指導力向上に繋がった」
- 「生徒のスキルアップにも繋がった」

R2年度配置数 30名

学校における常勤教職員(臨時的任用)の処遇改善

適正な任用・勤務条件の確保を目的に地方公務員法が改正
臨時的任用は、「常時勤務を要する職に欠員を生じた場合」に厳格化

【臨時的任用職員】(改正地公法第22条の3)

- ・ 正規職員に適用される給料表により給与決定
- ・ 正規職員に準じた休暇制度の導入
- ・ 共済組合の資格取得

等

※処遇改善に伴う影響額:約8億円

「教員が児童生徒への指導と教材研究等に注力できる体制の充実」・「魅力ある勤務環境の整備による優秀な教職員の確保」

担当：教職員課, 体育学校安全課

新 ひろがる読書推進事業



【令和2年度当初予算額 4,420千円】

背景

- 中学生の読書習慣の形成が不十分、高校生の読書への関心が低下
[1日あたりの読書時間が10分未満の生徒（中3）の割合：全国46.4%] [一か月に一冊も本を読まない生徒（高）の割合：全国50.4%]
- 児童・生徒の読書活動を促進するための学校図書館司書の配置状況
[司書配置の割合（小）：全国59.3%，（中）：全国57.3%]
- 多様な背景のある子供を取り巻く読書環境の整備促進
[改正入管法（平成31年4月施行）、読書バリアフリー法（令和元年6月施行）]

◆徳島県読書活動の推進に関する条例（平成29年4月施行）
⇒県民の読書活動を推進

継続 充実

読書への関心を高める取組みの推進

- ①高校生のための読み聞かせ講習会・実践会
- ②書評合戦ビブリオバトル

- 発達段階に応じた読書活動の推進
- 語彙力・表現力・読解力の育成
- 高校生読書活動推進リーダーによる啓発

■連携先：幼稚園・こども園・小学校・中学校
高等学校・大学・読書団体等



新 学校図書館資源有効活用のための地域人材育成

図書館サポーター養成講座を開設！

- 新しい学びに対応する学校図書館3機能（読書・情報・学習センター）の強化
- 地域の力（読書団体）の活用・充実
- 学校における働き方改革の推進

■連携先：小学校・中学校・図書館・読書団体等



新

誰もが読書を楽しめる街づくり

- ①デジタルコンテンツ×読書活動
＝徳島ver.の**情報バリアフリーモデル**事業を実施

- DAISY図書、多言語対応翻訳機、骨伝導ヘッドホン等の組み合わせによる、言語の違いや障がいの種別等に左右されない読書活動の推進→**ダイバーシティとくしま**に向けて
- 読書支援機器の活用研修の実施

■連携先：図書館・特別支援学校・多様な背景を持つ子供を支援する関係機関等

- ②子ども食堂に「街角ライブラリー」を設置

- 子供の主体的読書活動推進
- 中古本の循環…人と本をつなぐ仕組みの構築
- 子供の**サードプレイス**を創出

■連携先：子ども食堂・大学・NPO団体等



実現！読書活動が底支えする徳島ならではの未来教育

担当：生涯学習課

新 県立夜間中学開校準備事業

事業の目的

義務教育の機会を実質的に保障するため、県立夜間中学の開校準備をする

【令和2年度当初予算額 206,500千円】

夜間中学 の役割

□義務教育の機会の提供

- ・義務教育未修了の者
- ・不登校等で学び直しを希望する者
- ・外国籍の者

県内の 状況

□義務教育未修了者

⇒1,425名《平成22年国勢調査》

□中学校不登校の者

⇒641名《平成30年度》

□外国人労働者

⇒4,389名《平成30年度》

夜間中学設置の方向性

☆令和3年4月開校

夜間中学設置に
向けた基本方針

県立設置の
全国モデル

徳島の
学び直しの
拠点に

全国初！
県立
夜間中学の
設置へ

徳島県立徳島中央高等学校に併設

既存施設の
有効活用

通学の
利便性

「いつからでも学べる」
徳島ならではの
学びのスタイルの実現

令和元年度の主な取組み

県立夜間中学の校名決定

【公募期間】令和元年9月1日から9月30日

県内外から
212件
(144作品)
応募！

選定理由

- ・しらさぎは、島の鳥
- ・美しく舞う姿は生徒たちが未来に向かって羽ばたくイメージ
- ・ひらがな表記で読みやすい

令和元年11月
徳島県立しらさぎ中学校
に決定！！

広報・周知活動の展開

令和元年12月14日「徳島の学び直しを考える
夜間中学シンポジウム開催」

・県内外から約250名参加（県外から約50名）



徳島県は、他都道府県に
先駆けて県立による設置。
全国のモデルケースになることを期待。

夜間中学は、セーフティネット
誰一人取り残すことのない
将来の学校のあるべき姿を体現するもの

夜間中学設置推進事業

【令和2年度当初予算額 2,500千円】

■県立夜間中学生徒募集・広報・相談体制

- ・生徒募集案内作成, 配付
- ・夜間中学説明会及び相談会
- ・夜間中学体験授業の実施

■多様なニーズへの対応

- ・教育課程編成, 教材の開発
- ・日本語指導研修講座の実施
- ・夜間中学教職員対象研修計画

■入学者の受入れ及び

入学後の支援体制

- ・中学校夜間学級協議会の開催
- ・関係機関との連携体制の構築

多様な生徒一人ひとりの
能力、適性等に応じた
学びを提供

県立しらさぎ中学校施設整備事業

【令和2年度当初予算額 204,000千円】

■徳島中央高校産業教育実習棟改修工事

構造：鉄筋コンクリート2階建て
規模：延べ床面積 1,180㎡

リタイアインフラ
の有効活用

工期短縮

- ・内外装リニューアル
- ・可動式パーティション
- ・多目的ホール
(イベント, 調理, 集会等)
- ・災害時の避難所機能

快適学習環境
& 多機能付加

■備品・教材整備

- ・PC(1人1台), 電子黒板
- ・Wi-Fi環境, 教科用品等

ICT教育
環境の充実

■その他開校準備

- ・校章, 校旗, 案内標識等

「多様な学びを支える」 安心感に満ちた教育環境の創造

新 新たな時代「令和」を切り拓く農林水産業人材の育成・確保



【令和2年度当初予算額 575,425千円】

課題

- 農林水産業の担い手不足
- 新たな技術に対応できる人材が不足
- 新規就業者の経営確立の支援が必要

取組み

- 農業・林業・漁業の各アカデミーが連携して人材育成
- スマート農林水産業に対応できる人材の育成
- 支援制度を充実し、就業定着をフォローアップ

とくしま農林水産未来人材スクール

新 とくしま農林水産未来人材スクール魅力発信事業

- **農・林・水が一体となった人材の育成・確保**
 - ・ 徳島の魅力を「ウェブサイト」を用いて一体的に配信
 - ・ 就業希望者向けの「相談会」を合同で開催
 - ・ 「就業体感ツアー・見学会・講座」を連携して実施



ウェブサイトを開設(R元年11月)



農・林・水合同で「相談会」を開催



「就業体感ツアー」等を実施

農業

林業

水産業

新規就業

新 アグリビジネスアカデミー運営費

技術レベルに応じた学びやすいコースに再編し、現場ニーズや新たな技術習得に対応した研修を実施

- 営農基礎コース
- 営農技術向上コース
- 6次産業化コース
- **かんきつアカデミー**

主要なかんきつ(みかん、すだち、ゆず)の栽培管理技術を習得

旧果樹研究所を活用したアカデミー機能の強化



※アグリビジネススクールをアグリビジネスアカデミーに改称

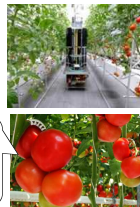
新 施設園芸アカデミー

- **スマート園芸実践コース**
→ 生産現場でのOJT研修による高収益生産技術の実装
- **スマート園芸入門コース**
→ 環境制御技術の基礎を習得

R2年夏 開講予定



産学官連携によるトマト栽培の世界基準を体感



リカレント教育

農業人材力強化総合支援事業

- **準備型**
・就農前の技術習得を支援
- **経営開始型**
・独立自営就農の経営確立を支援
- **経営安定型**
・市町村と連携し、担い手の経営安定を支援

定着支援

とくしま林業アカデミー事業

- 現場の即戦力となる人材を1年間で養成
- **就業マッチング**や**アフターアカデミー**を実施し、卒業生を就職後もバックアップ



とくしま林業リカレント支援事業

- **プロフェッショナル育成事業**
搬出間伐の技術指導や現場管理ができる班長の育成
- **スペシャリスト育成事業**
大径材の伐採や架線技術の習得など、主伐に対応した技術者の育成

主伐時代の経営体育成事業

- 意欲と能力のある林業経営体の育成・強化、規模拡大を支援

とくしま漁業アカデミー運営事業

- 新規就業者の目指す就業スタイルに合わせた1年間の**オーダーメイド型研修**を実施
- 漁業に必要な資格の取得を支援



人づくり革命・漁業リカレント事業

- **アフター・アカデミー・プログラム事業**
アカデミー卒業生に漁業現場でより高度な実践的研修を実施
- **浜のリーダー成長促進事業**
次代の浜を担う人材の育成を図るため、全ての漁業者を対象にリカレント教育を実施

浜の担い手育成支援事業

- 漁業にかかる資材購入費等を支援するなど、就業直後の漁業者の不安定な経営を支援

担い手確保による持続可能な農林水産業を実現！

担 当：林業戦略課、水産振興課、農林水産総合技術支援センター経営推進課

「環境と経済の好循環」を生み出す気候変動対策の推進



【令和2年度当初予算額 16,245千円】

国内外の動き

- ・ 「SDGs」や「ESG投資」などが世界の潮流に
- ・ 2020年から「パリ協定」が本格実施
- ・ 「国連気候行動サミット」では、77カ国が「2050年実質ゼロ」を表明
- ・ 「G20大阪サミット」では、「大阪ブルーオーシャンビジョン」を共有
- ・ 「食品ロス削減推進法」の制定(R1.10施行)



本県の取組(令和元年度)

- ・ **気候変動対策推進計画**の策定 ⇒ **2050年実質ゼロに挑戦!**
- ・ **気候変動適応センター**の開設 ⇒ **災害への備えを加速!**
- ・ **レジ袋削減協定**を締結 ⇒ **スーパーチェーン店舗の8割が有料化!**
- ・ **川ごみサミット・食品ロス削減全国大会**を開催 ⇒ **環境意識を醸成!**

環境と経済の好循環

地域資源の最大限活用

県民総活躍

脱炭素社会の実現へ「環境首都とくしま」が世界をリード!

新 エシカル消費で脱炭素へ! 県民運動推進事業 (7,245千円)

●ビジネス主導の「エシカルキャンペーン」の実施

環境に配慮した事業者のサービスや製品を通じ、エシカルなライフスタイルへの転換を促すキャンペーンや「消費者庁新未来創造戦略本部」と連携した社会実験を実施

●「気候危機適応講座」の開催

「とくしま環境首都学校」において、「気候変動」を危機管理事象と捉えた「防災・減災講座」を開催

レジ袋削減に続く成功モデル創出

新 プラスチックごみ資源循環推進事業 (4,000千円)

●ワンウェイプラスチック代替製品の導入支援

- ・ 産学官で組織する「Renewable研究会」を創設
- ・ メーカーとユーザーとのマッチング機会等を創出
- ・ モデル的な代替製品導入に対する補助制度を創設

プラごみ削減とくしまモデル構築

●「プラごみ削減集中キャンペーン(7月)」の展開

- ・ 企業への出前研修
- ・ 海洋プラごみ体感バスツアー
- ・ 海洋・河川等の一斉清掃 等

新 「環境と経済の好循環」による気候変動対策推進事業 (2,500千円)

●「徳島版ESG地域金融活用協議会」の創設

金融機関や中小企業支援機関等と連携し、「環境配慮型経営への転換」や「環境ビジネスの創出」に取り組む中小企業の資金調達を支援

ビジネススタイル転換促進

新 食品ロス削減とくしまモデル推進事業 (2,500千円)

●フードバンク活動の支援

全国大会のレガシーとして、ICTを活用した活動範囲の拡大を支援

●「食品ロス削減推進計画」の策定

廃棄物全体の削減を見据えた「食品ロス実態調査」を実施

フードバンクとくしまモデル本格運用

農林水産気候変動適応対策プロジェクト



【令和2年度当初予算額 19,000千円】

1 目 的 本県農林水産業の競争力を強化し、成長産業化を実現するため、気候変動に対応した新品種・新技術の開発推進や温暖化をメリットとして活用した新たな農林水産ブランドの創出を図る。

2 事業内容 **(1) 気候変動に打ち克つ農林水産適応技術開発プロジェクト 13,000千円**

秋冬期の高温による生育不良や越冬病虫害の増加などの影響を回避・軽減する新たな品種・技術の開発とともに、温暖化を積極的に利用した新たな農林水産物ブランド創出のための技術を開発

生育不良・ストレス被害への対応

- ① 着色良く大果で年内収量が多いイチゴ、多様なニーズを呼び込む「彩リイチゴ」の育成
- ① 高温ストレス耐性のある豚群作出技術の開発
- ◇ 貯蔵性に優れた「スタチや温州ミカンの晩生品種」の開発
- ◇ 夏期の空調コスト低減のための昼夜温の変温管理による「菌床シイタケ栽培技術」の開発
- ◇ 色調に優れ高水温耐性のある「ワカメ晩生系統」の選抜・育成
- ◇ 冬期の大雨による低塩分の環境にも適応する「スジアオノリ系統」の選抜

病虫害の多発への対応

- ① 施設キュウリにおける誘引株を利用した越冬微小害虫の防除技術の開発
- ① レンコン腐敗症の発生要因の究明と軽減技術の開発

温暖化の積極的活用

- ① 藻場を守るための駆除ウニを活用した養殖モデルの開発
- ◇ 熱帯果樹の低コスト栽培技術の開発

(2) 魚づくり革命・もうかる養殖魚創出事業 6,000千円

温暖化への対応と香港など海外への輸出を視野に、南方系の高級魚である「キジハタ」の導入に向け、水産研究課及び県有種苗生産施設の陸上水槽を活用し、養殖技術等を開発

- ◇ 閉鎖循環式FRP水槽における成長増進技術の開発・実証
- ◇ 大型コンクリート水槽における大量養殖技術の開発・実証
- ◇ 県産「ゆず」を活用した餌料の開発・実証
- ◇ 関係機関との連携による販売戦略の検討

3 効 果 気候変動に適応した競争力のある持続可能な農林水産業を実現する。

担当:水産振興課・農林水産総合技術支援センター経営推進課

マイナスからプラスへ！「リタイアインフラ」から新たな価値を創造



【新】とくしま旧道敷利活用モデル事業

【令和2年度当初予算額3,000千円】

「旧道敷」利活用策の構築



○タスクフォースで活用策を検討

- ・健康ブームに寄与するもの
- ・地域の賑わいを拡大するもの



★「徳島ならではのサイクルオアシス」として整備

- ・県産木材を用いたベンチと自転車ハンガーの設置
- ・情報掲示板で地域の情報を発信
- ・徳島県の色「藍色」を木製品に採用



○まずは、南阿波サンライン(旧料金所跡地)

- ・自転車王国とくしまGo around公式コース
- ・ワールドマスターズゲームズ関西やひわさうみがめトライアスロン等地域のサイクルイベントにも活用
- ・地元の「インスタ映え」ポイント等を紹介することにより、地域への人の流れを創出



★「サイクルオアシス★パートナー制度」創設

○道路協力団体制度を活用した

旧道敷の維持管理

道路空間での収益を維持管理に還元する仕組みを構築



新たな出会いSPOT創出事業

【令和2年度当初予算額2,000千円】

出合橋活用の本格展開

①にぎわいの創出

○イベントの拡充

- ・婚活イベント回数UP (マリッサとくしまと連携)
- ・橋上カフェ春・秋開催 (那賀町商工会と連携) ⇒インフラツーリズムのイベントに合わせた開催 (SMARツーリズム推進会議:企業局と連携)
- ・那賀川流域センチュリーランのエイドステーションとして活用(阿南市と連携)
- ・LEDイルミネーションの検討



出逢いのパワースポット
カップル3組出合橋で成立♡



出合橋上カフェ
約170名来場♪

②メンテナンス技術の開発

○実橋実験を継続

- ・徳島大学と連携したインフラメンテナンスを先導する実橋実験 ⇒経過年数を反映した振動モデルの構築
- ・研究機関へのプロモート

【実験状況】



各種計測機器
(センサー類)

③次世代の人材育成

○即戦力世代へも拡大

- ・実橋実験の成果を大学の講義に活用
- ・ドローン操縦体験を組み込んだ野外実習(那賀町と連携)
- ・レーザー測量やグラフィック等を使ったIoT学習



那賀町との連携
(ドローン特区)

民間や地域との連携による好循環を創出

担当：道路整備課

新「徳島 木のおもちゃ美術館(仮称)」整備推進事業



【令和2年度当初予算額 50,000千円】

平成25～30年度の取組み

- ◆全国初「徳島県県産材利用促進条例」施行(H25.4)
～「木育」の推進を位置づけ～
- ◆「とくしま木づかい県民会議」設立(H28.3)
- ◆「すぎの子木育広場」設置(県内20カ所)
- ◆「全国木育サミットin徳島」開催(H31.2)

レガシー継承

県内20カ所設置の木育体験施設「すぎの子木育広場」の中核拠点となる「徳島 木のおもちゃ美術館(仮称)」を整備

令和元年度の取組み

- ◆「徳島 木のおもちゃ美術館(仮称)」基本構想の策定
- 基本構想 骨子**
- 【整備場所】 **あすたむらんど徳島・四季彩館**
- 【基本コンセプト】 **5つの「空間」が融合**
- 赤ちゃんから高齢者までが楽しめる「集いの空間」
 - 徳島の木をまるごと感じる「体験の空間」
 - 木の恩恵、木の知識、木の文化を知る「学びの空間」
 - 子どもたちの感性・創造力を育む「遊びの空間」
 - 徳島を魅せる「にぎわい発信の空間」

3月末 「基本構想」を策定

令和2年度の取組み

◆「基本設計・実施設計」の実施

➢ 本県で培われた「木の文化や伝統」を活かし、幅広い世代の方々に「愛され、活躍していただける」徳島らしさに満ちあふれる「木育の一大拠点」を設計！



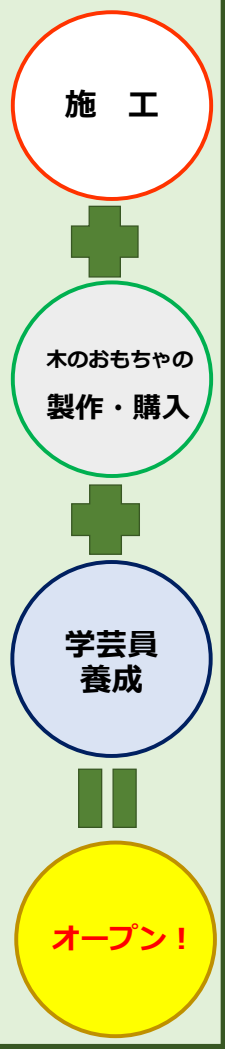
◆木のおもちゃ・備品の「設計・購入計画」の作成

➢ 県産材をまるごと使った「木のおもちゃ」をデザイン！ * 県内事業者が製作

◆「木のおもちゃ学芸員養成プログラム」の作成

➢ 「徳島ならではの」「木のおもちゃ学芸員*」によるおもてなし！
*館内で木のおもちゃの遊び方や良さを伝える「専門ボランティアスタッフ」

展開(令和3年度)



更なる「木育」の推進と、県産材の魅力発信を加速！

担当：林業戦略課